

令和4年度

愛川町一般会計・特別会計
決算審査意見書

愛川町監査委員



5 愛 監
令和5年8月25日

愛川町長 小野澤 豊 殿

愛川町監査委員 小 林 晴 男

愛川町監査委員 佐 藤 り え

令和4年度愛川町一般会計及び特別会計歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法(昭和22年法律第67号)第233条第2項の規定により、審査に付された令和4年度愛川町一般会計及び特別会計歳入歳出決算書及び証書類、その他政令で定める書類並びに地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第94号)第3条第1項の規定により、審査に付された令和4年度決算に関する健全化判断比率・資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類を審査したので、次のとおり意見を提出する。

(事務担当は監査委員事務局監査班)

目 次

I 地方自治法に基づく決算審査

| | | |
|-----|-------------------|----|
| 第1 | 審査の対象 | 1 |
| 第2 | 審査の期間 | 1 |
| 第3 | 審査の方法 | 1 |
| 第4 | 審査の結果 | 1 |
| 第5 | 決算の概要 | 2 |
| 1 | 全会計の総括（一般会計・特別会計） | 2 |
| (1) | 決算収支 | 2 |
| (2) | 財政指数の推移 | 3 |
| (3) | 町 債 | 5 |
| 2 | 一般会計 | 6 |
| (1) | 全 般 | 6 |
| (2) | 歳 入 | 7 |
| (3) | 歳 出 | 20 |
| 3 | 特別会計 | 32 |
| (1) | 全 般 | 32 |
| (2) | 国民健康保険特別会計 | 33 |
| (3) | 後期高齢者医療特別会計 | 37 |
| (4) | 介護保険特別会計 | 40 |
| 4 | 実質収支に関する調書 | 44 |
| 5 | 財産に関する調書 | 45 |
| 第6 | 審査意見 | 48 |

II 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率等の審査

○令和4年度愛川町財政健全化審査意見書

| | | |
|----|-------|----|
| 第1 | 審査の対象 | 52 |
| 第2 | 審査の期間 | 52 |
| 第3 | 審査の方法 | 52 |
| 第4 | 審査の結果 | 52 |

[凡 例]

- 1 各表中に用いる年度は、年号を省略している。
- 2 文中は千円単位で整理し、各表中は原則として円単位で整理していることから、文中と表中で表示金額に差異のある箇所がある。
- 3 文中及び各表中の比率は、原則として小数点第2位以下を調整し、第1位まで表示している。
- 4 構成比(%)は、合計が「100.0」となるよう一部調整している。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0.0」 ----- 該当数値はあるが、表示数値に満たないもの
 - 「-」 ----- 皆無または該当数値がないもの
 - 「皆増」 ----- 年度比較で、前年度に数値がない場合
 - 「皆減」 ----- 年度比較で、当年度に数値がない場合
 - 「△」 ----- 負数であるもの

令和4年度 愛川町一般会計・特別会計決算審査意見書

第1 審査の対象

1 歳入歳出決算

- (1) 令和4年度一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和4年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- (3) 令和4年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- (4) 令和4年度介護保険特別会計歳入歳出決算

2 令和4年度各会計歳入歳出決算事項別明細書

3 実質収支に関する調書

4 財産に関する調書

第2 審査の期間

令和5年7月26日から令和5年8月8日まで

第3 審査の方法

令和5年7月5日付け町長からの審査依頼に基づき、令和4年度愛川町各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書が、法令に規定された様式に基づいて作成されているか、決算の計数に誤りはないか、予算は適正かつ効率的に執行されているか、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき、監査委員が審査することとされている健全化判断比率等により判断された財政運営は健全か、財産管理は適正か等に主眼をおき、それぞれ関係諸帳簿及び証拠書類と照合し実施した。

また、併せて定期監査及び例月出納検査を参考にして審査を実施した。

第4 審査の結果

愛川町監査基準（令和2年監査告示第1号）及び令和5年度監査等年間計画等に基づいて審査したところ、審査に付された各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書の記載事項は、いずれも法令に規定された様式に従って作成され、記載金額は歳入・歳出簿、証書類、財産台帳、基金出納簿等と符合し、計数的に正確であると認められた。

また、各会計の決算内容及び予算の執行についても、おおむね適正であると認められた。

第5 決算の概要

1 全会計の総括（一般会計・特別会計）

（1）決算収支

一般会計と各特別会計を合わせた決算額総計は、歳入が23,663,383千円、歳出が22,746,812千円である。歳入歳出差引額（形式収支）は916,571千円の黒字、翌年度へ繰り越すべき財源65,168千円を控除した実質収支は851,403千円の黒字、実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は37,240千円の黒字である。

一般会計の決算額は、歳入が15,060,423千円、歳出が14,303,921千円で形式収支は756,502千円の黒字、翌年度へ繰り越すべき財源65,162千円を控除した実質収支は691,340千円の黒字、単年度収支は62,348千円の赤字である。

特別会計の決算額は、歳入が8,602,960千円、歳出が8,422,891千円で、形式収支は、160,069千円の黒字、翌年度へ繰り越すべき財源6千円を控除した実質収支は160,063千円の黒字、単年度収支は99,588千円の黒字である。

また、本年度の決算額を前年度と比べると、歳入は553,864千円(2.3%)、歳出は646,039千円(2.8%)それぞれ減少した。形式収支は、前年度に比べ92,175千円(11.2%)、実質収支は37,241千円(4.6%)それぞれ増加し、単年度収支は123,665千円(76.9%)減少している。

決算収支の状況は、次表のとおりである。

一般会計・特別会計決算収支状況

(単位：円)

| 区分 会計 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 歳入歳出 差引額 | 翌年度に繰り 越すべき財源 | 実質収支 | 単年度収支 |
|----------|----------------|----------------|-------------|------------------|-------------|--------------|
| 一般会計 | 15,060,422,941 | 14,303,920,944 | 756,501,997 | 65,162,000 | 691,339,997 | △ 62,347,294 |
| 特別会計 | 8,602,959,951 | 8,442,890,813 | 160,069,138 | 6,000 | 160,063,138 | 99,588,621 |
| 国民健康保険 | 4,685,517,048 | 4,649,180,528 | 36,336,520 | 0 | 36,336,520 | 16,376,727 |
| 後期高齢者医療 | 594,690,502 | 566,330,482 | 28,360,020 | 0 | 28,360,020 | 1,922,300 |
| 介護保険 | 3,322,752,401 | 3,227,379,803 | 95,372,598 | 6,000 | 95,366,598 | 81,289,594 |
| 総計 | 23,663,382,892 | 22,746,811,757 | 916,571,135 | 65,168,000 | 851,403,135 | 37,241,327 |

一般会計・特別会計決算収支対前年度比

(単位：円・%)

| 区分 | 年度 | 4年度 | 3年度 | 増減額 | 増減率 |
|-----------------|----|----------------|----------------|---------------|--------|
| | | 一般・3特別会計 | 一般・3特別会計 | | |
| A 歳入総額 | | 23,663,382,892 | 24,217,246,521 | △ 553,863,629 | △ 2.3 |
| B 歳出総額 | | 22,746,811,757 | 23,392,850,513 | △ 646,038,756 | △ 2.8 |
| C 歳入歳出差引額 (A-B) | | 916,571,135 | 824,396,008 | 92,175,127 | 11.2 |
| D 翌年度に繰越すべき財源 | | 65,168,000 | 10,234,200 | 54,933,800 | 536.8 |
| E 実質収支 (C-D) | | 851,403,135 | 814,161,808 | 37,241,327 | 4.6 |
| F 前年度実質収支 | | 814,161,808 | 653,255,573 | 160,906,235 | 24.6 |
| G 単年度収支(E-F) | | 37,241,327 | 160,906,235 | △ 123,664,908 | △ 76.9 |

(2) 財政指数の推移

財政運営の健全性や財政構造の弾力性の指標となる各種財政分析指数の推移は、次表のとおりである。

財政指数年度比較

| 区分 \ 年度 | 30年度 | 元年度 | 2年度 | 3年度 | 4年度 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 財政力指数(3年平均) | 1.002 | 1.016 | 1.018 | 0.998 | 0.970 |
| 経常収支比率 % | 90.3 | 92.0 | 92.9 | 89.7 | 92.8 |
| 公債費負担比率 % | 6.1 | 6.2 | 6.5 | 6.8 | 6.8 |
| 公債費比率 % | 1.3 | 1.8 | 2.7 | 3.4 | 3.9 |

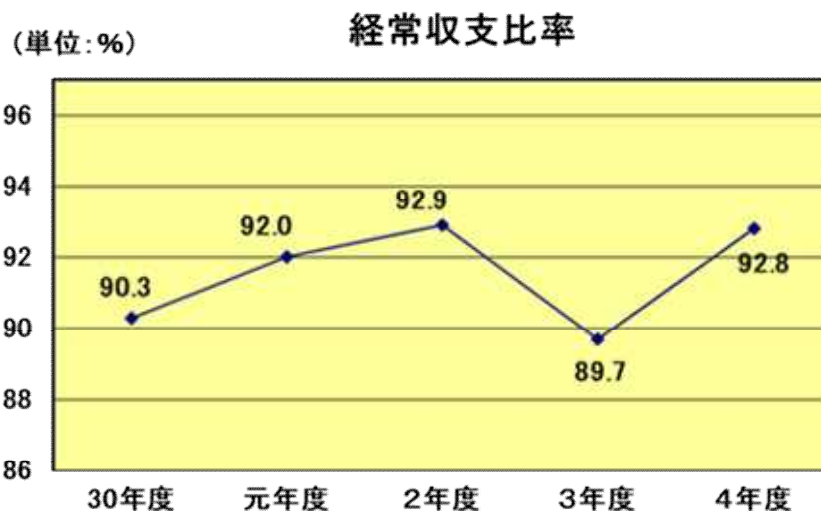
ア 財政力指数(3か年平均)

財政力の強弱を示す指標として用いられ、1以上の場合は1を超える分だけ余裕財源を保有しているとされている。本年度の財政力指数は0.970となり、前年度に比べ0.028ポイント下回った。



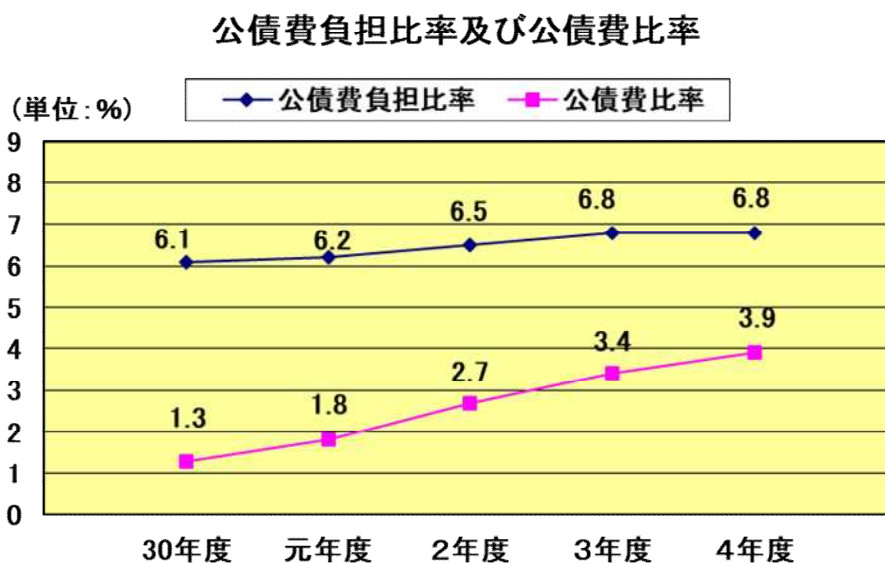
イ 経常収支比率

財政構造の弾力性を示すもので、人件費、扶助費、公債費、維持補修費などの経常的に支出する経費に、町税、地方譲与税、地方交付税等の経常一般財源に減収補てん債特例分及び臨時財政対策債を加えた額がどの程度充当されているかをみる指標で、本年度は92.8%で、前年度に比べ3.1ポイント上昇した。



ウ 公債費負担比率・公債費比率

公債費負担比率は、地方債の元利償還金に充当された一般財源の一般財源総額に対する割合をいう。この比率が高いほど財政運営の硬直性の高まりを示すものであり、一般的には15.0%が警戒ライン、20.0%が危険ラインとされている。本年度の公債費負担比率は6.8%で、前年度と同率であった。また、公債費比率は、地方債の元利償還金が財政運営に及ぼす影響を判断する指標として用いられるもので、財政運営の健全性を保つには、10.0%を超えないことが望ましいとされている。本年度の公債費比率は3.9%で、前年度に比べ0.5ポイント上昇している。



(3) 町債

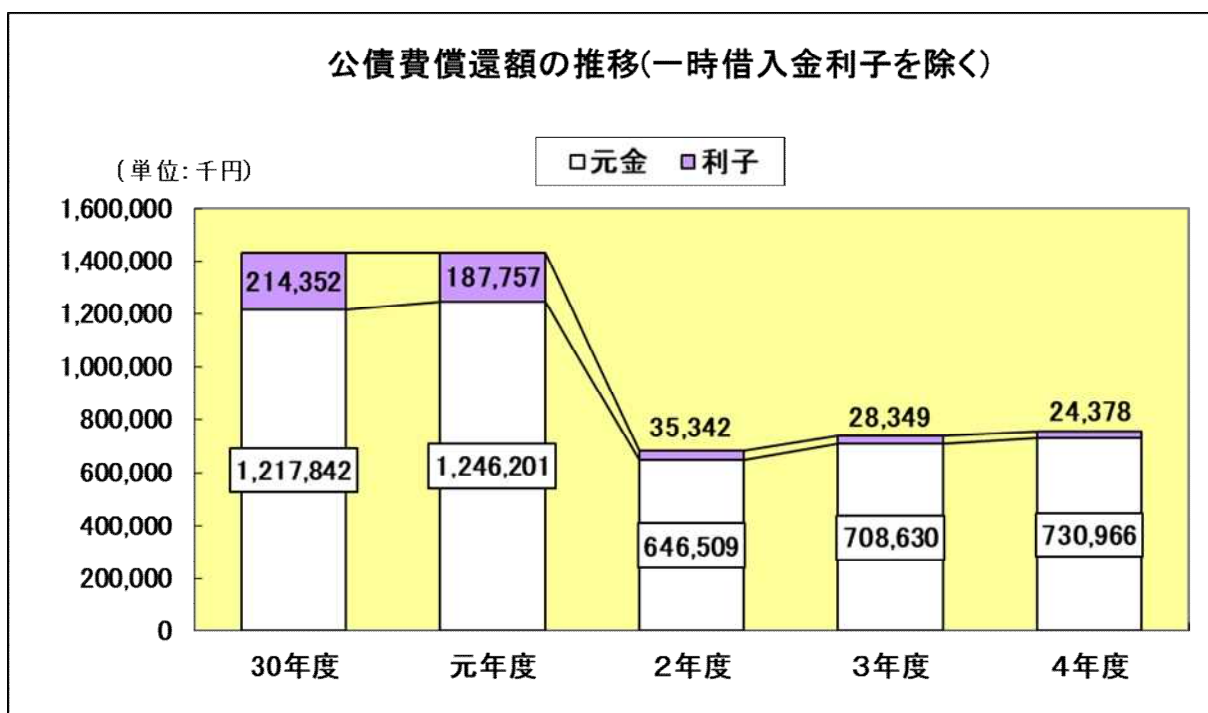
町債の借入・償還状況は、次表のとおりである。

町債借入・償還状況

(単位：千円)

| 区分 | 年度 | 3年度末現在高 | 4年度借入額 | 4年度償還額 | | | 4年度末現在高 |
|------|----|-----------|---------|---------|--------|---------|-----------|
| | | | | 元金 | 利子 | 計 | |
| 一般会計 | | 6,688,724 | 381,800 | 730,966 | 24,378 | 755,344 | 6,339,558 |
| 合計 | | 6,688,724 | 381,800 | 730,966 | 24,378 | 755,344 | 6,339,558 |

本年度末の町債現在高は6,339,558千円で、前年度に比べ349,166千円(5.2%)減少している。
 本年度の町債借入額は381,800千円で、前年度に比べ255,300千円(40.1%)減少している。
 本年度の元利償還額は755,344千円で、前年度に比べ18,365千円(2.5%)増加している。
 元金償還額は730,966千円で、前年度に比べ22,336千円(3.2%)増加している。
 利子償還額は24,378千円で、前年度に比べ3,971千円(14.0%)減少している。



※ 令和2年度から下水道事業特別会計が公共下水道事業会計に移行している。

町債現在高の推移は、次表のとおりである。

町債現在高の推移

(単位：千円)

| 区分 | 年度 | 30年度末現在高 | 元年度末現在高 | 2年度末現在高 | 3年度末現在高 | 4年度末現在高 |
|-----------|----|------------|------------|-----------|-----------|-----------|
| 一般会計 | | 6,783,484 | 6,590,963 | 6,760,254 | 6,688,724 | 6,339,558 |
| 特別会計(下水道) | | 7,869,773 | 7,482,193 | — | — | — |
| 合計 | | 14,653,257 | 14,073,156 | 6,760,254 | 6,688,724 | 6,339,558 |

2 一般会計

(1) 全般

本年度の決算額は、歳入総額15,060,423千円、歳出総額14,303,921千円で、歳入歳出差引額（形式収支）は756,502千円となっている。この中には、翌年度へ繰り越すべき財源65,162千円（継続費遞次繰越し分462千円、繰越明許費繰越し分64,700千円）が含まれているので、この額を控除した実質収支は691,340千円となる。

これらを前年度と比較すると歳入で477,793千円（3.1%）減少し、歳出で470,373千円（3.2%）減少している。実質収支から前年度実質収支を控除した単年度収支は62,348千円の赤字である。

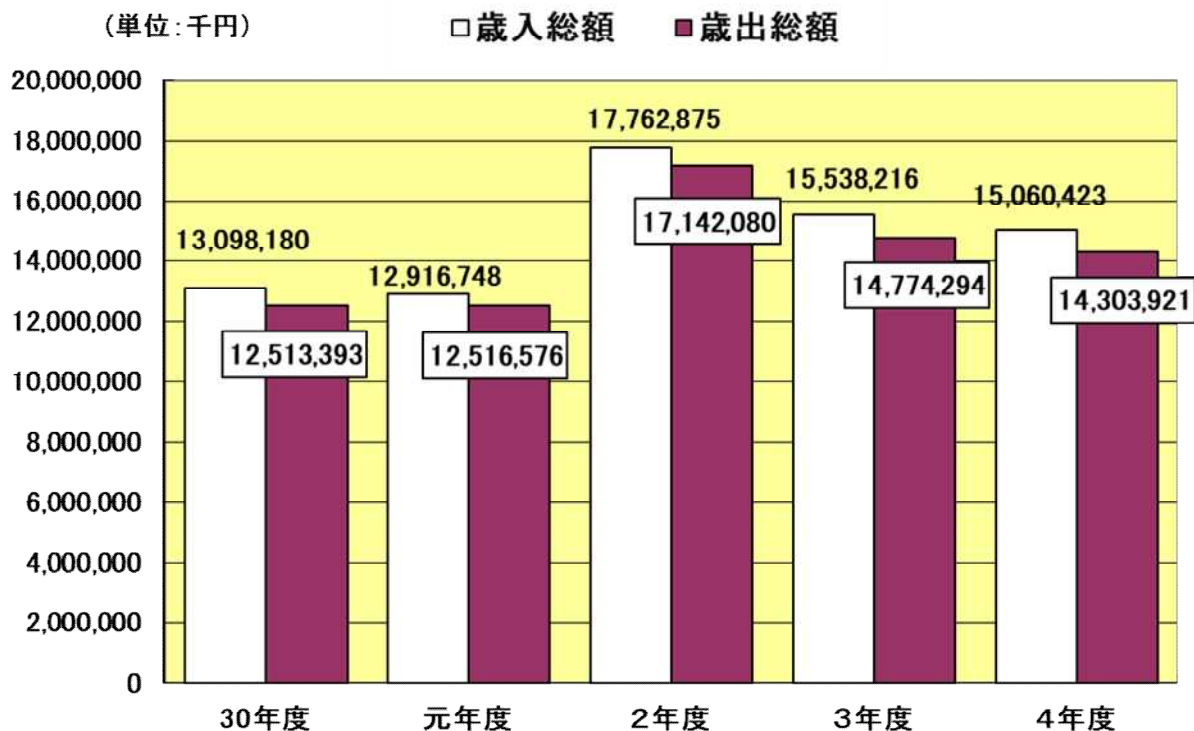
決算収支の状況は、次表のとおりである。

一般会計決算収支状況

（単位：円・%）

| 区分 | 年度 | 4年度 | 3年度 | 増減額 | 増減率 |
|------------------|----|----------------|----------------|---------------|---------|
| A 歳入総額 | | 15,060,422,941 | 15,538,215,579 | △ 477,792,638 | △ 3.1 |
| B 歳出総額 | | 14,303,920,944 | 14,774,294,088 | △ 470,373,144 | △ 3.2 |
| C 歳入歳出差引額 (A-B) | | 756,501,997 | 763,921,491 | △ 7,419,494 | △ 1.0 |
| D 翌年度へ繰越すべき財源 | | 65,162,000 | 10,234,200 | 54,927,800 | 536.7 |
| E 実質収支額 | | 691,339,997 | 753,687,291 | △ 62,347,294 | △ 8.3 |
| F 単年度収支 (E-前年度E) | | △ 62,347,294 | 162,498,763 | △ 224,846,057 | △ 138.4 |

一般会計決算収支の推移



(2) 歳入

ア 全般

調定額15,291,491千円に対し、収入済額は15,060,423千円(収入率98.5%)で、前年度と比較すると収入済額は477,793千円(3.1%)減少している。

増額した主なものは町税323,738千円(4.4%)、繰越金143,127千円(23.1%)、財産収入48,568千円(375.5%)、寄附金47,116千円(150.6%)などである。

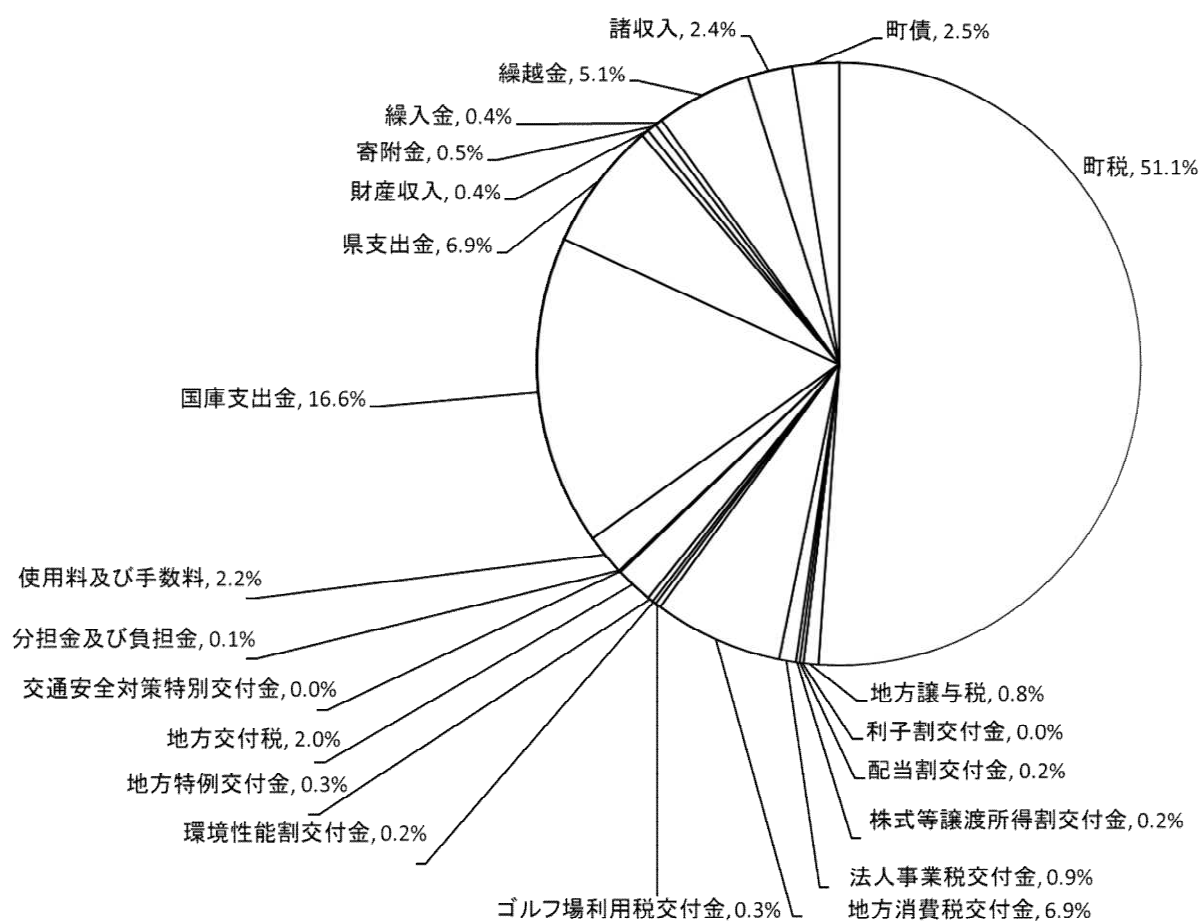
一方、減額した主なものは、国庫支出金631,956千円(20.2%)、町債255,300千円(40.1%)、繰入金66,548千円(51.7%)、地方特例交付金62,482千円(57.8%)などである。

収入済額に占める構成比は、町税が51.1%で、以下国庫支出金16.6%、地方消費税交付金6.9%、県支出金6.9%、繰越金5.1%、町債2.5%、諸収入2.4%となっている。

不納欠損額は町税の23,521千円となっており、前年度と比較して3,719千円(13.7%)減少している。

収入未済額は207,548千円で、その内訳は、町税206,951千円、使用料及び手数料376千円、分担金及び負担金103千円、財産収入81千円、諸収入37千円となっており、前年度と比べ26,525千円(11.3%)減少している。

一般会計款別歳入構成比率



本年度の歳入款別決算状況は、次表のとおりである。

歳入款別決算状況

(単位：円・%)

| 区分 款 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | | 収入済 額の構 成比率 |
|--------------------|----------------|----------------|----------------|-------------|--------------|-------|-------|-------------------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 | |
| 1 町税 | 7,577,844,000 | 7,924,261,197 | 7,693,790,129 | 23,520,502 | 206,950,566 | 101.5 | 97.1 | 51.1 |
| 2 地方譲与税 | 122,500,000 | 118,391,000 | 118,391,000 | 0 | 0 | 96.6 | 100.0 | 0.8 |
| 3 利子割交付金 | 2,500,000 | 1,709,000 | 1,709,000 | 0 | 0 | 68.4 | 100.0 | 0.0 |
| 4 配当割交付金 | 27,000,000 | 34,231,000 | 34,231,000 | 0 | 0 | 126.8 | 100.0 | 0.2 |
| 5 株式等譲渡所 得割交付金 | 22,000,000 | 26,112,000 | 26,112,000 | 0 | 0 | 118.7 | 100.0 | 0.2 |
| 6 法人事業税交 付金 | 111,000,000 | 139,003,000 | 139,003,000 | 0 | 0 | 125.2 | 100.0 | 0.9 |
| 7 地方消費税交 付金 | 971,000,000 | 1,040,920,000 | 1,040,920,000 | 0 | 0 | 107.2 | 100.0 | 6.9 |
| 8 ゴルフ場利用 税交付金 | 41,000,000 | 40,115,079 | 40,115,079 | 0 | 0 | 97.8 | 100.0 | 0.3 |
| 9 環境性能割交 付金 | 24,000,000 | 26,253,939 | 26,253,939 | 0 | 0 | 109.4 | 100.0 | 0.2 |
| 10 地方特例交 付金 | 45,682,000 | 45,691,000 | 45,691,000 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 | 0.3 |
| 11 地方交付税 | 286,682,000 | 300,425,000 | 300,425,000 | 0 | 0 | 104.8 | 100.0 | 2.0 |
| 12 交通安全対 策特別交付金 | 6,000,000 | 5,836,000 | 5,836,000 | 0 | 0 | 97.3 | 100.0 | 0.0 |
| 13 分担金及び 負担金 | 26,421,000 | 21,851,750 | 21,748,750 | 0 | 103,000 | 82.3 | 99.5 | 0.1 |
| 14 使用料及び 手数料 | 325,951,000 | 329,070,695 | 328,694,572 | 0 | 376,123 | 100.8 | 99.9 | 2.2 |
| 15 国庫支出金 | 2,642,624,166 | 2,495,100,299 | 2,495,100,299 | 0 | 0 | 94.4 | 100.0 | 16.6 |
| 16 県支出金 | 1,056,520,000 | 1,033,013,706 | 1,033,013,706 | 0 | 0 | 97.8 | 100.0 | 6.9 |
| 17 財産収入 | 58,529,000 | 61,582,833 | 61,501,536 | 0 | 81,297 | 105.1 | 99.9 | 0.4 |
| 18 寄附金 | 81,573,000 | 78,406,245 | 78,406,245 | 0 | 0 | 96.1 | 100.0 | 0.5 |
| 19 繰入金 | 87,665,000 | 62,275,603 | 62,275,603 | 0 | 0 | 71.0 | 100.0 | 0.4 |
| 20 繰越金 | 763,922,200 | 763,921,491 | 763,921,491 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 | 5.1 |
| 21 諸収入 | 349,653,000 | 361,520,252 | 361,483,592 | 0 | 36,660 | 103.4 | 100.0 | 2.4 |
| 22 町債 | 460,300,000 | 381,800,000 | 381,800,000 | 0 | 0 | 82.9 | 100.0 | 2.5 |
| 4年度合計 | 15,090,366,366 | 15,291,491,089 | 15,060,422,941 | 23,520,502 | 207,547,646 | 99.8 | 98.5 | 100.0 |
| 3年度合計 | 15,495,506,919 | 15,799,527,399 | 15,538,215,579 | 27,239,205 | 234,072,615 | 100.3 | 98.3 | 100.0 |
| 増減額 | △ 405,140,553 | △ 508,036,310 | △ 477,792,638 | △ 3,718,703 | △ 26,524,969 | △0.5 | 0.2 | - |

イ 財源別状況

自主財源は9,371,822千円で、前年度に比べ507,948千円(5.7%)増加した。

歳入に占める構成割合は、前年度に比べ5.2ポイント上昇し、62.2%となっている。

依存財源は5,688,601千円で、前年度に比べ985,741千円(14.8%)減少した。

歳入に占める構成割合は、前年度に比べ5.2ポイント低下し、37.8%となっている。

財源別対前年度比較

(単位：円・%)

| 財源別 | 年度 科目 | 4年度 | | 3年度 | | 比較増減 | | |
|------|----------------|---------------|----------------|---------------|---------------|---------------|-------|------------|
| | | 決算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 | 構成比 率の差 |
| 自主財源 | 1 町税 | 7,693,790,129 | 51.1 | 7,370,052,392 | 47.4 | 323,737,737 | 4.4 | 3.7 |
| | 13 分担金及び負担金 | 21,748,750 | 0.1 | 25,830,470 | 0.2 | △ 4,081,720 | △15.8 | △0.1 |
| | 14 使用料及び手数料 | 328,694,572 | 2.2 | 298,337,042 | 1.9 | 30,357,530 | 10.2 | 0.3 |
| | 17 財産収入 | 61,501,536 | 0.4 | 12,933,408 | 0.1 | 48,568,128 | 375.5 | 0.3 |
| | 18 寄附金 | 78,406,245 | 0.5 | 31,289,579 | 0.2 | 47,116,666 | 150.6 | 0.3 |
| | 19 繰入金 | 62,275,603 | 0.4 | 128,824,236 | 0.8 | △ 66,548,633 | △51.7 | △0.4 |
| | 20 繰越金 | 763,921,491 | 5.1 | 620,794,447 | 4.0 | 143,127,044 | 23.1 | 1.1 |
| | 21 諸収入 | 361,483,592 | 2.4 | 375,812,653 | 2.4 | △ 14,329,061 | △3.8 | 0.0 |
| | 計 | 9,371,821,918 | 62.2 | 8,863,874,227 | 57.0 | 507,947,691 | 5.7 | 5.2 |
| 依存財源 | 2 地方譲与税 | 118,391,000 | 0.8 | 119,265,000 | 0.8 | △ 874,000 | △0.7 | 0.0 |
| | 3 利子割交付金 | 1,709,000 | 0.0 | 2,472,000 | 0.0 | △ 763,000 | △30.9 | 0.0 |
| | 4 配当割交付金 | 34,231,000 | 0.2 | 36,840,000 | 0.2 | △ 2,609,000 | △7.1 | 0.0 |
| | 5 株式等譲渡所得割交付金 | 26,112,000 | 0.2 | 46,873,000 | 0.3 | △ 20,761,000 | △44.3 | △0.1 |
| | 6 法人事業税交付金 | 139,003,000 | 0.9 | 122,711,000 | 0.8 | 16,292,000 | 13.3 | 0.1 |
| | 7 地方消費税交付金 | 1,040,920,000 | 6.9 | 1,002,122,000 | 6.5 | 38,798,000 | 3.9 | 0.4 |
| | 8 ゴルフ場利用税交付金 | 40,115,079 | 0.3 | 40,681,685 | 0.3 | △ 566,606 | △1.4 | 0.0 |
| | 9 環境性能割交付金 | 26,253,939 | 0.2 | 22,014,056 | 0.2 | 4,239,883 | 19.3 | 0.0 |
| | 10 地方特例交付金 | 45,691,000 | 0.3 | 108,173,000 | 0.7 | △ 62,482,000 | △57.8 | △0.4 |
| | 11 地方交付税 | 300,425,000 | 2.0 | 327,598,000 | 2.1 | △ 27,173,000 | △8.3 | △0.1 |
| | 12 交通安全対策特別交付金 | 5,836,000 | 0.0 | 6,465,000 | 0.0 | △ 629,000 | △9.7 | 0.0 |
| | 15 国庫支出金 | 2,495,100,299 | 16.6 | 3,127,055,877 | 20.1 | △ 631,955,578 | △20.2 | △3.5 |
| | 16 県支出金 | 1,033,013,706 | 6.9 | 1,074,970,734 | 6.9 | △ 41,957,028 | △3.9 | 0.0 |
| | 22 町債 | 381,800,000 | 2.5 | 637,100,000 | 4.1 | △ 255,300,000 | △40.1 | △1.6 |
| 計 | 5,688,601,023 | 37.8 | 6,674,341,352 | 43.0 | △ 985,740,329 | △14.8 | △5.2 | |
| 合計 | 15,060,422,941 | 100.0 | 15,538,215,579 | 100.0 | △ 477,792,638 | △3.1 | - | |

ウ 各款別決算

【第1款】 町税

(単位：円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 (対調定) |
|----------|---------------|---------------|---------------|-------------|--------------|--------------|
| 4年度 | 7,577,844,000 | 7,924,261,197 | 7,693,790,129 | 23,520,502 | 206,950,566 | 97.1 |
| 3年度 | 7,235,631,000 | 7,614,120,153 | 7,370,052,392 | 27,097,605 | 216,970,156 | 96.8 |
| 比較増減 | 342,213,000 | 310,141,044 | 323,737,737 | △ 3,577,103 | △ 10,019,590 | 0.3 |

収入済額は7,693,790千円で、前年度に比べ323,738千円(4.4%)増加している。

歳入総額の51.1%を占めている。

また、収入率(対調定)は97.1%で、前年度に比べ0.3ポイント上昇した。

収入済額のうち、町民税は2,643,480千円で、前年度に比べ254,437千円(10.7%)増加している。

その要因は、町民税(個人)が前年度と比べ67,109千円(3.4%)、町民税(法人)が187,328千円(43.1%)、それぞれ増加したことによるものである。

固定資産税は4,073,935千円で、前年度に比べ35,126千円(0.9%)増加しており、固定資産税と併せて徴収される都市計画税は446,160千円で、前年度に比べ5,226千円(1.2%)増加している。

税目別収入決算額の前年度比較は、次表のとおりである。

税目別対前年度比較

(単位：円・%)

| 科目 | 年度 | 4年度 | | 3年度 | | 対前年度 | |
|-------------------|----|---------------|-------|---------------|-------|-------------|-------|
| | | 収入済額 | 構成比 | 収入済額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 町民税 | | 2,643,479,836 | 34.4 | 2,389,043,302 | 32.4 | 254,436,534 | 10.7 |
| 個人 | | 2,021,035,636 | 26.3 | 1,953,926,902 | 26.5 | 67,108,734 | 3.4 |
| 法人 | | 622,444,200 | 8.1 | 435,116,400 | 5.9 | 187,327,800 | 43.1% |
| 固定資産税 | | 4,073,934,348 | 52.9 | 4,038,808,901 | 54.8 | 35,125,447 | 0.9 |
| 固定資産税 | | 3,874,480,648 | 50.3 | 3,835,533,601 | 52.0 | 38,947,047 | 1.0 |
| 国有資産等所在 市町村交付金 | | 199,453,700 | 2.6 | 203,275,300 | 2.8 | △ 3,821,600 | △1.9 |
| 軽自動車税 | | 148,860,245 | 1.9 | 141,655,716 | 1.9 | 7,204,529 | 5.1 |
| 町たばこ税 | | 381,355,258 | 5.0 | 359,610,680 | 4.9 | 21,744,578 | 6.0 |
| 特別土地保有税 | | | 0.0 | | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 都市計画税 | | 446,160,442 | 5.8 | 440,933,793 | 6.0 | 5,226,649 | 1.2 |
| 計 | | 7,693,790,129 | 100.0 | 7,370,052,392 | 100.0 | 323,737,737 | 4.4 |

(単位:千円)

町税収入の推移



税目別不納欠損額、収入未済額の前年度比較は、次表のとおりである。

税目別不納欠損額・収入未済額対前年度比較

(単位:円・%)

| 税目 | 区分 | 4年度 | | 3年度 | | 増減額 | 増減率 |
|-------|---------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|
| | | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | |
| 不納欠損額 | 町民税(個人) | 10,956,896 | 46.6 | 14,425,470 | 53.2 | △3,468,574 | △24.0 |
| | 町民税(法人) | 444,000 | 1.9 | 595,645 | 2.2 | △151,645 | △25.5 |
| | 固定資産税 | 9,789,339 | 41.6 | 9,658,958 | 35.7 | 130,381 | 1.3 |
| | 軽自動車税 | 1,203,077 | 5.1 | 1,307,566 | 4.8 | △104,489 | △8.0 |
| | 町たばこ税 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 特別土地保有税 | | 0.0 | | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 都市計画税 | 1,127,190 | 4.8 | 1,109,966 | 4.1 | 17,224 | 1.6 |
| | 計 | 23,520,502 | 100.0 | 27,097,605 | 100.0 | △3,577,103 | △13.2 |
| 収入未済額 | 町民税(個人) | 123,678,498 | 59.8 | 125,502,847 | 57.9 | △1,824,349 | △1.5 |
| | 町民税(法人) | 4,495,909 | 2.2 | 3,908,609 | 1.8 | 587,300 | 15.0 |
| | 固定資産税 | 62,202,327 | 30.0 | 69,646,914 | 32.1 | △7,444,587 | △10.7 |
| | 軽自動車税 | 9,788,185 | 4.7 | 10,234,007 | 4.7 | △445,822 | △4.4 |
| | 町たばこ税 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 特別土地保有税 | | 0.0 | | 0.0 | 0 | 0.0 |
| | 都市計画税 | 6,785,647 | 3.3 | 7,677,779 | 3.5 | △892,132 | △11.6 |
| | 計 | 206,950,566 | 100.0 | 216,970,156 | 100.0 | △10,019,590 | △4.6 |

不納欠損額は23,521千円で、前年度に比べ3,577千円(13.2%)減少している。この主な要因は、町民税(個人)3,468千円(24.0%)、町民税(法人)152千円(25.5%)、軽自動車税104千円(8.0%)が、それぞれ減少したことによるものである。

また、収入未済額は206,951千円で、前年度に比べ10,019千円(4.6%)減少している。この主な要因は、固定資産税7,444千円(10.7%)、町民税(個人)1,824千円(1.5%)が、それぞれ減少したことによるものである。

【第2款】 地方譲与税

(単位：円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 (対調定) |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------|-------|--------------|
| 4年度 | 122,500,000 | 118,391,000 | 118,391,000 | 0 | 0 | 100.0 |
| 3年度 | 112,000,000 | 119,265,000 | 119,265,000 | 0 | 0 | 100.0 |
| 比較増減 | 10,500,000 | △ 874,000 | △ 874,000 | 0 | 0 | 0.0 |

収入済額は118,391千円で、前年度に比べ874千円(0.7%)減少している。

歳入総額の0.8%を占めている。

この地方譲与税は、国が国税として徴収し、これを地方公共団体に対して譲与するもので、地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税、森林環境譲与税が交付されている。

【第3款】 利子割交付金

(単位：円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 (対調定) |
|----------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|--------------|
| 4年度 | 2,500,000 | 1,709,000 | 1,709,000 | 0 | 0 | 100.0 |
| 3年度 | 2,500,000 | 2,472,000 | 2,472,000 | 0 | 0 | 100.0 |
| 比較増減 | 0 | △ 763,000 | △ 763,000 | 0 | 0 | 0.0 |

収入済額は1,709千円で、前年度に比べ763千円(30.9%)減少している。

歳入総額の0.01%を占めている。

この交付金は、県に納入された県民税利子割額に100分の99を乗じて得られた額の5分の3に相当する額が、個人県民税の収入割合に応じ、市町村に交付されるものである。

【第4款】 配当割交付金

(単位：円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 (対調定) |
|----------|------------|-------------|-------------|-------|-------|--------------|
| 4年度 | 27,000,000 | 34,231,000 | 34,231,000 | 0 | 0 | 100.0 |
| 3年度 | 25,000,000 | 36,840,000 | 36,840,000 | 0 | 0 | 100.0 |
| 比較増減 | 2,000,000 | △ 2,609,000 | △ 2,609,000 | 0 | 0 | 0.0 |

収入済額は34,231千円で、前年度に比べ2,609千円(7.1%)減少している。

歳入総額の0.2%を占めている。

この交付金は、県に納入された県民税配当割額に100分の99を乗じて得られた額の5分の3に相当する額が、個人県民税の収入割合に応じ、市町村に交付されるものである。

【第5款】 株式等譲渡所得割交付金

(単位：円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 (対調定) |
|----------|------------|--------------|--------------|-------|-------|--------------|
| 4年度 | 22,000,000 | 26,112,000 | 26,112,000 | 0 | 0 | 100.0 |
| 3年度 | 16,000,000 | 46,873,000 | 46,873,000 | 0 | 0 | 100.0 |
| 比較増減 | 6,000,000 | △ 20,761,000 | △ 20,761,000 | 0 | 0 | 0.0 |

収入済額は26,112千円で、前年度に比べ20,761千円(44.3%)減少している。

歳入総額の0.2%を占めている。

この交付金は、県に納入された県民税株式等譲渡所得割額に100分の99を乗じて得た額の5分の3に相当する額が、個人県民税の収入割合に応じ、市町村に交付されるものである。

【第6款】 法人事業税交付金

(単位：円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 (対調定) |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------|-------|--------------|
| 4年度 | 111,000,000 | 139,003,000 | 139,003,000 | 0 | 0 | 100.0 |
| 3年度 | 91,000,000 | 122,711,000 | 122,711,000 | 0 | 0 | 100.0 |
| 比較増減 | 20,000,000 | 16,292,000 | 16,292,000 | 0 | 0 | 0.0 |

収入済額は139,003千円で、前年度に比べ16,292千円(13.3%)増加している。

歳入総額の0.9%を占めている。

この交付金は、地方法人特別税と地方法人特別譲与税の廃止に伴う市町村分の法人住民税法人税割の減収分を補てんする措置として創設されたもので、県が法人事業税の収入額に7.7%を乗じて得た額を市町村に対し従業者数で按分するもので、経過措置として令和3年度は2/3法人税割額、1/3従業者数で按分し、令和4年度は1/3法人税割額、2/3従業者数で按分し交付されるものである。

【第7款】 地方消費税交付金

(単位：円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 (対調定) |
|----------|-------------|---------------|---------------|-------|-------|--------------|
| 4年度 | 971,000,000 | 1,040,920,000 | 1,040,920,000 | 0 | 0 | 100.0 |
| 3年度 | 977,000,000 | 1,002,122,000 | 1,002,122,000 | 0 | 0 | 100.0 |
| 比較増減 | △ 6,000,000 | 38,798,000 | 38,798,000 | 0 | 0 | 0.0 |

収入済額は1,040,920千円で、前年度に比べ38,798千円(3.9%)増加している。

歳入総額の6.9%を占めている。

この交付金は、国税である消費税(7.8%)と併せて徴収される地方消費税(2.2%)を財源とし、2分の1が県に、残りの2分の1が、国から県を通じ市町村に交付されるものである。

なお、従来分は、市町村の人口と従業者数で按分し交付され、社会保障財源である税率引上げ分は、全額を国勢調査による人口で按分し交付されるものである。

【第8款】 ゴルフ場利用税交付金

(単位：円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 (対調定) |
|----------|------------|------------|------------|-------|-------|--------------|
| 4年度 | 41,000,000 | 40,115,079 | 40,115,079 | 0 | 0 | 100.0 |
| 3年度 | 39,000,000 | 40,681,685 | 40,681,685 | 0 | 0 | 100.0 |
| 比較増減 | 2,000,000 | △ 566,606 | △ 566,606 | 0 | 0 | 0.0 |

収入済額は40,115千円で、前年度に比べ567千円(1.4%)減少している。

歳入総額の0.3%を占めている。

この交付金は、県が徴収したゴルフ場利用税額の10分の7に相当する額がゴルフ場所在市町村に交付されるものである。

【第9款】 環境性能割交付金

(単位：円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 (対調定) |
|----------|------------|------------|------------|-------|-------|--------------|
| 4年度 | 24,000,000 | 26,253,939 | 26,253,939 | 0 | 0 | 100.0 |
| 3年度 | 24,000,000 | 22,014,056 | 22,014,056 | 0 | 0 | 100.0 |
| 比較増減 | 0 | 4,239,883 | 4,239,883 | 0 | 0 | 100.0 |

収入済額は26,254千円で、前年度に比べ4,240千円(19.3%)増加している。

歳入総額の0.2%を占めている。

この交付金は、自動車取得税に代わり自動車の取得者に対して課税される県税である自動車税環境性能割の収入額に100分の95を乗じて得られた額の100分の43(令和元年度から令和3年度までは100分の47)に相当する額が、市町村道の延長及び面積で按分され交付されるものである。

【第10款】 地方特例交付金

(単位：円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 (対調定) |
|----------|--------------|--------------|--------------|-------|-------|--------------|
| 4年度 | 45,682,000 | 45,691,000 | 45,691,000 | 0 | 0 | 100.0 |
| 3年度 | 105,318,000 | 108,173,000 | 108,173,000 | 0 | 0 | 100.0 |
| 比較増減 | △ 59,636,000 | △ 62,482,000 | △ 62,482,000 | 0 | 0 | 0.0 |

収入済額は45,691千円で、前年度に比べ62,482千円(57.8%)減少している。

歳入総額の0.3%を占めている。

この交付金は、個人住民税における住宅借入金等特別税額控除に伴う地方公共団体の減収補填分(個人住民税減収補填特例交付金)のほか、先端設備等に対する軽減措置による固定資産税の減収額に対する補填分である。

【第11款】 地方交付税

(単位：円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 (対調定) |
|----------|--------------|--------------|--------------|-------|-------|--------------|
| 4年度 | 286,682,000 | 300,425,000 | 300,425,000 | 0 | 0 | 100.0 |
| 3年度 | 321,171,000 | 327,598,000 | 327,598,000 | 0 | 0 | 100.0 |
| 比較増減 | △ 34,489,000 | △ 27,173,000 | △ 27,173,000 | 0 | 0 | 0.0 |

収入済額は300,425千円で、前年度に比べ27,173千円(8.3%)減少している。

歳入総額の2.0%を占めている。

収入済額の内訳は、地方自治体の財源不足を補うための普通交付税286,672千円と、地方自治体の特別な財政需要等に対する特別交付税13,753千円である。

【第12款】 交通安全対策特別交付金

(単位:円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 (対調定) |
|----------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|--------------|
| 4年度 | 6,000,000 | 5,836,000 | 5,836,000 | 0 | 0 | 100.0 |
| 3年度 | 5,500,000 | 6,465,000 | 6,465,000 | 0 | 0 | 100.0 |
| 比較増減 | 500,000 | △ 629,000 | △ 629,000 | 0 | 0 | 0.0 |

収入済額は5,836千円で、前年度に比べ629千円(9.7%)減少している。

歳入総額の0.04%を占めている。

この交付金は、道路交通法の規定により納付される反則金を、交通事故発生件数の平均値及び人口集中地区人口比率等により按分して交付されるもので、交通安全施設整備費の財源となるものである。

【第13款】 分担金及び負担金

(単位:円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 (対調定) |
|----------|-------------|-------------|-------------|-----------|----------|--------------|
| 4年度 | 26,421,000 | 21,851,750 | 21,748,750 | 0 | 103,000 | 99.5 |
| 3年度 | 28,181,000 | 26,113,120 | 25,830,470 | 141,600 | 141,050 | 98.9 |
| 比較増減 | △ 1,760,000 | △ 4,261,370 | △ 4,081,720 | △ 141,600 | △ 38,050 | 0.6 |

収入済額は21,749千円で、前年度に比べ4,081千円(15.8%)減少している。

歳入総額の0.1%を占めている。

収入済額の主なものは、児童福祉費負担金の児童運営費負担金(保育料)20,408千円と社会福祉費負担金の老人保護措置費負担金1,296千円である。

収入未済額103千円は、児童運営費負担金前年度以前滞納繰越分である。

【第14款】 使用料及び手数料

(単位:円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 (対調定) |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------|----------|--------------|
| 4年度 | 325,951,000 | 329,070,695 | 328,694,572 | 0 | 376,123 | 99.9 |
| 3年度 | 288,160,000 | 298,798,004 | 298,337,042 | 0 | 460,962 | 99.8 |
| 比較増減 | 37,791,000 | 30,272,691 | 30,357,530 | 0 | △ 84,839 | 0.1 |

収入済額は328,694千円で、前年度に比べ30,357千円(10.2%)増加している。

歳入総額の2.2%を占めている。

収入済額の内訳は、使用料237,406千円、手数料91,288千円である。

収入済額の主なものは、使用料では、保健衛生使用料(愛川聖苑施設使用料)128,384千円、住宅使用料(町営住宅使用料、町営住宅駐車場使用料)36,630千円、

道路橋りょう使用料(道路占用料)25,992千円、都市計画使用料(有料公園施設使用料、公園占有料等を含む。)18,194千円などで、手数料では、清掃手数料(塵芥処理手数料、し尿収集手数料等を含む。)68,178千円、戸籍住民基本台帳手数料(戸籍手数料、住民基本台帳手数料等を含む。)14,775千円などである。

収入未済額は376千円で、前年度に比べ85千円減少している。

収入未済額の主なものは、し尿収集手数料144千円と放課後児童クラブ育成料120千円で

ある。

【第15款】 国庫支出金

(単位：円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 (対調定) |
|----------|---------------|---------------|---------------|-------|--------------|--------------|
| 4年度 | 2,642,624,166 | 2,495,100,299 | 2,495,100,299 | 0 | 0 | 100.0 |
| 3年度 | 3,254,901,000 | 3,143,414,877 | 3,127,055,877 | 0 | 16,359,000 | 99.5 |
| 比較増減 | △ 612,276,834 | △ 648,314,578 | △ 631,955,578 | 0 | △ 16,359,000 | 0.5 |

収入済額は2,495,100千円で、前年度に比べ631,956千円(20.2%)減少している。

歳入総額の16.6%を占めている。

国庫支出金を項別にみると、次表のとおりである。

(単位：円・%)

| 区分 | 4年度 | | 3年度 | | 対前年度 | |
|-------|---------------|-------|---------------|-------|---------------|-------|
| | 収入済額 | 構成比 | 収入済額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 国庫負担金 | 1,374,681,011 | 55.1 | 1,439,861,918 | 46.0 | △ 65,180,907 | △4.5 |
| 国庫補助金 | 1,106,685,174 | 44.4 | 1,662,185,788 | 53.2 | △ 555,500,614 | △33.4 |
| 委託金 | 13,734,114 | 0.5 | 25,008,171 | 0.8 | △ 11,274,057 | △45.1 |
| 計 | 2,495,100,299 | 100.0 | 3,127,055,877 | 100.0 | △ 631,955,578 | △20.2 |

収入済額の主なものは、国庫負担金では、社会福祉費負担金の国民健康保険基盤安定負担金39,395千円、障害福祉サービス費等負担金553,788千円、児童福祉費負担金の児童手当負担金366,148千円、施設型給付事業費負担金132,138千円、地域型保育給付事業費負担金76,992千円、子育てのための施設等利用給付費負担金19,716千円、保健衛生費負担金の新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金133,692千円などで、国庫補助金では、社会福祉費補助金の住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費補助金83,000千円、価格高騰緊急支援給付金給付事業費補助金187,150千円、価格高騰緊急支援給付金給付事務費補助金31,711千円、児童福祉費補助金の新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金22,438千円、保健衛生費補助金の新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金329,655千円、道路橋りょう費補助金の橋梁修繕事業費補助金17,989千円、下平・館山118号線(平山下平線)整備事業交付金23,841千円などである。また、交付金では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金289,254千円などで、委託金では、戸籍住民基本台帳費委託金の個人番号カード交付事務費委託金5,156千円と、社会福祉費委託金の国民年金事務委託金7,580千円などである。

【第16款】 県支出金

(単位：円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 (対調定) |
|----------|---------------|---------------|---------------|-------|-------|--------------|
| 4年度 | 1,056,520,000 | 1,033,013,706 | 1,033,013,706 | 0 | 0 | 100.0 |
| 3年度 | 1,046,833,000 | 1,074,970,734 | 1,074,970,734 | 0 | 0 | 100.0 |
| 比較増減 | 9,687,000 | △ 41,957,028 | △ 41,957,028 | 0 | 0 | 0.0 |

収入済額は1,033,014千円で、前年度に比べ41,957千円(3.9%)減少している。

歳入総額の6.9%を占めている。

県支出金を項別にみると、次表のとおりである。

(単位：円・%)

| 区分 | 4年度 | | 3年度 | | 対前年度 | |
|------|---------------|-------|---------------|-------|--------------|-------|
| | 収入済額 | 構成比 | 収入済額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 県負担金 | 664,215,750 | 64.3 | 651,244,473 | 60.6 | 12,971,277 | 2.0 |
| 県補助金 | 269,423,609 | 26.1 | 334,379,449 | 31.1 | △ 64,955,840 | △19.4 |
| 委託金 | 99,374,347 | 9.6 | 89,346,812 | 8.3 | 10,027,535 | 11.2 |
| 計 | 1,033,013,706 | 100.0 | 1,074,970,734 | 100.0 | △ 41,957,028 | △3.9 |

収入済額の主なものは、県負担金では、社会福祉費負担金の障害福祉サービス費等負担金271,529千円、国民健康保険基盤安定負担金117,086千円、後期高齢者医療保険基盤安定制度負担金63,266千円、児童福祉費負担金の児童手当負担金82,661千円などで、県補助金では、市町村自治基盤強化総合補助金38,312千円、社会福祉費補助金の重度障害者医療費補助金41,242千円、児童福祉費補助金の施設型給付事業費補助金19,006千円、農業費補助金の6次産業化施設整備事業費補助金25,530千円、林業費補助金の水源環境保全再生市町村補助金22,100千円などである。

また、委託金では、徴税费委託金の県民税徴収事務費委託金69,467千円、選挙費委託金の参議院議員通常選挙費委託金20,957千円などである。

【第17款】 財産収入

(単位：円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 (対調定) |
|----------|------------|------------|------------|-------|---------|--------------|
| 4年度 | 58,529,000 | 61,582,833 | 61,501,536 | 0 | 81,297 | 99.9 |
| 3年度 | 547,000 | 13,017,045 | 12,933,408 | 0 | 83,637 | 99.4 |
| 比較増減 | 57,982,000 | 48,565,788 | 48,568,128 | 0 | △ 2,340 | 0.5 |

収入済額は61,501千円で、前年度に比べ48,568千円(375.5%)増加している。

歳入総額の0.4%を占めている。

収入済額の主なものは、土地建物貸付収入の土地貸付収入37,358千円、土地売払収入23,249千円である。

【第18款】 寄附金

(単位：円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 (対調定) |
|----------|------------|------------|------------|-------|-------|--------------|
| 4年度 | 81,573,000 | 78,406,245 | 78,406,245 | 0 | 0 | 100.0 |
| 3年度 | 31,260,000 | 31,289,579 | 31,289,579 | 0 | 0 | 100.0 |
| 比較増減 | 50,313,000 | 47,116,666 | 47,116,666 | 0 | 0 | 0.0 |

収入済額は78,406千円で、前年度に比べ47,116千円(150.6%)増加している。

歳入総額の0.5%を占めている。

収入済額の主なものは、一般寄附金38,571千円、社会福祉費寄附金26,752千円、社会教育費寄附金の文化・スポーツ振興基金寄附金7,740千円などである。

【第19款】 繰入金

(単位：円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 (対調定) |
|----------|--------------|--------------|--------------|-------|-------|--------------|
| 4年度 | 87,665,000 | 62,275,603 | 62,275,603 | 0 | 0 | 100.0 |
| 3年度 | 130,013,000 | 128,824,236 | 128,824,236 | 0 | 0 | 100.0 |
| 比較増減 | △ 42,348,000 | △ 66,548,633 | △ 66,548,633 | 0 | 0 | 0.0 |

収入済額は62,276千円で、前年度に比べ66,548千円(51.7%)減少している。

歳入総額の0.4%を占めている。

収入済額の主なものは、財政調整基金繰入金28,721千円、いのちを守る基金繰入金15,220千円などである。

【第20款】 繰越金

(単位：円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 (対調定) |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------|-------|--------------|
| 4年度 | 763,922,200 | 763,921,491 | 763,921,491 | 0 | 0 | 100.0 |
| 3年度 | 620,794,919 | 620,794,447 | 620,794,447 | 0 | 0 | 100.0 |
| 比較増減 | 143,127,281 | 143,127,044 | 143,127,044 | 0 | 0 | 0.0 |

収入済額は763,922千円で、前年度に比べ143,127千円(23.1%)増加している。

歳入総額の5.1%を占めている。

繰越金の内訳は、次表のとおりである。

(単位：円)

| 区 分 | 金 額 |
|-----------|-------------|
| 前年度繰越金 | 753,687,291 |
| 継続費通次繰越し分 | 725,000 |
| 繰越期許費繰越し分 | 9,509,200 |
| 合 計 | 763,921,491 |

【第21款】 諸収入

(単位：円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 (対調定) |
|----------|--------------|--------------|--------------|-------|----------|--------------|
| 4年度 | 349,653,000 | 361,520,252 | 361,483,592 | 0 | 36,660 | 100.0 |
| 3年度 | 381,297,000 | 375,870,463 | 375,812,653 | 0 | 57,810 | 100.0 |
| 比較増減 | △ 31,644,000 | △ 14,350,211 | △ 14,329,061 | 0 | △ 21,150 | 0.0 |

収入済額は361,484千円で、前年度に比べ14,329千円(3.8%)減少している。

歳入総額の2.4%を占めている。

収入済額の主なものは、勤労者福祉資金貸付金元利収入の勤労者総合資金預託金元金90,000千円、勤労者生活資金預託金元金44,000千円、後期高齢者健康診査事業補助金の後期高齢者医療制度事業補助金27,077千円、商工業経営安定資金貸付金元利収入の中小企業事業資金預託金元金22,000千円、有価物売払収入29,607千円、会計年度任用職員共済掛金23,201千円などである。

【第22款】 町債

(単位：円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 (対調定) |
|----------|---------------|---------------|---------------|-------|-------|--------------|
| 4年度 | 460,300,000 | 381,800,000 | 381,800,000 | 0 | 0 | 100.0 |
| 3年度 | 759,400,000 | 637,100,000 | 637,100,000 | 0 | 0 | 100.0 |
| 比較増減 | △ 299,100,000 | △ 255,300,000 | △ 255,300,000 | 0 | 0 | 0.0 |

収入済額は381,800千円で、前年度に比べ255,300千円(40.1%)減少している。

歳入総額の2.5%を占めている。

収入済額の主なものは、道路橋りょう債の道路新設改良事業債139,700千円、平山下平線整備事業債70,300千円、消防費の高規格救急車購入事業債34,300千円、臨時財政対策債83,200千円などである。

(3) 歳出

ア 全般

支出総額は14,303,921千円で、前年度に比べ470,373千円(3.2%)減少している。

支出額が前年度に比較して増加した款は、議会費、総務費、衛生費、農林水産業費、商工費、消防費、教育費、災害復旧費、公債費で、減少した款は、民生費、土木費、諸支出金である。

執行率は94.8%で、前年度(95.3%)に比べ0.5ポイント低下し、未執行額は786,445千円で、その内訳は翌年度繰越額92,762千円及び不用額693,683千円である。

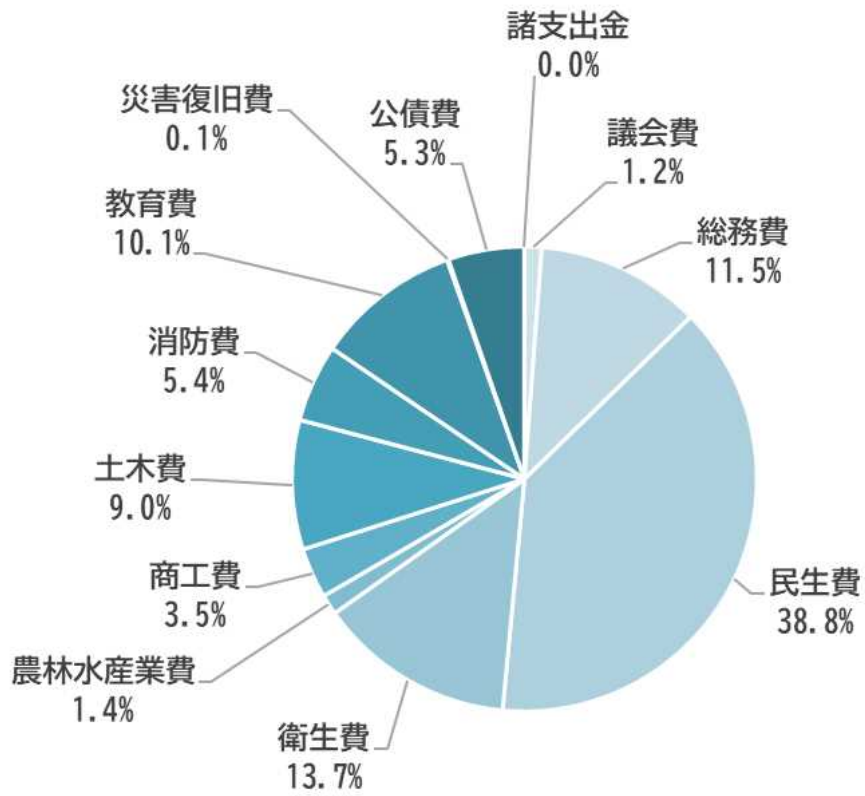
歳出款別決算状況は、次表のとおりである。

歳出款別決算状況

(単位：円・%)

| 款 | 区分 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | | 不用額 | 対予算 | 支出済額の構成比率 | |
|----|--------|----------------|----------------|--------|------------|-----|-------------|-----------|-------|
| | | | | 対予算 | 対予算 | | | | |
| 1 | 議会費 | 169,963,000 | 167,276,604 | 98.4 | 0 | 0.0 | 2,686,396 | 1.6 | 1.2 |
| 2 | 総務費 | 1,706,604,373 | 1,649,589,851 | 96.7 | 0 | 0.0 | 57,014,522 | 3.3 | 11.5 |
| 3 | 民生費 | 5,774,259,320 | 5,555,068,538 | 96.2 | 0 | 0.0 | 219,190,782 | 3.8 | 38.8 |
| 4 | 衛生費 | 2,158,415,597 | 1,961,279,881 | 90.9 | 1,078,000 | 0.0 | 196,057,716 | 9.1 | 13.7 |
| 5 | 農林水産業費 | 236,613,200 | 201,653,344 | 85.2 | 0 | 0.0 | 34,959,856 | 14.8 | 1.4 |
| 6 | 商工費 | 527,075,000 | 504,445,601 | 95.7 | 0 | 0.0 | 22,629,399 | 4.3 | 3.5 |
| 7 | 土木費 | 1,433,390,390 | 1,284,633,709 | 89.6 | 63,784,000 | 4.5 | 84,972,681 | 5.9 | 9.0 |
| 8 | 消防費 | 778,315,000 | 769,384,807 | 98.9 | 0 | 0.0 | 8,930,193 | 1.1 | 5.4 |
| 9 | 教育費 | 1,503,633,721 | 1,440,640,756 | 95.8 | 27,900,000 | 1.9 | 35,092,965 | 2.3 | 10.1 |
| 10 | 災害復旧費 | 13,241,000 | 11,603,670 | 87.6 | 0 | 0.0 | 1,637,330 | 12.4 | 0.1 |
| 11 | 公債費 | 757,759,000 | 755,344,183 | 99.7 | 0 | 0.0 | 2,414,817 | 0.3 | 5.3 |
| 12 | 諸支出金 | 3,000,000 | 3,000,000 | 100.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.0 |
| 13 | 予備費 | 28,096,765 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 28,096,765 | 100.0 | 0.0 |
| | 合計 | 15,090,366,366 | 14,303,920,944 | 94.8 | 92,762,000 | 0.6 | 693,683,422 | 4.6 | 100.0 |

一般会計歳出款別構成比



イ 性質別経費

性質別経費の前年度比較は、次表のとおりである。

性質別経費対前年度比較

(単位：千円・%)

| 区分 | 年度 | 4年度 | | 3年度 | | 増減額 | 増減率 | 構成比率の差 |
|---------|------------|------------|------------|------------|----------|----------|-------|--------|
| | | 決算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | | | |
| 消費的経費 | 人件費 | 3,440,855 | 24.0 | 3,390,093 | 23.0 | 50,762 | 1.5 | 1.0 |
| | 物件費 | 2,650,950 | 18.5 | 2,431,814 | 16.4 | 219,136 | 9.0 | 2.1 |
| | 維持補修費 | 92,768 | 0.7 | 70,231 | 0.5 | 22,537 | 32.1 | 0.2 |
| | 扶助費 | 2,973,480 | 20.8 | 3,416,152 | 23.1 | △442,672 | △13.0 | △2.3 |
| | 補助費等 | 1,973,847 | 13.8 | 1,645,119 | 11.1 | 328,728 | 20.0 | 2.7 |
| | 小計 | 11,131,900 | 77.8 | 10,953,409 | 74.1 | 178,491 | 1.6 | 3.7 |
| 投資的経費 | 普通建設事業費 | 688,384 | 4.8 | 841,652 | 5.7 | △153,268 | △18.2 | △0.9 |
| | 補助事業費 | 178,149 | 1.2 | 359,460 | 2.4 | △181,311 | △50.4 | △1.2 |
| | 単独事業費 | 510,235 | 3.6 | 482,192 | 3.3 | 28,043 | 5.8 | 0.3 |
| | 災害復旧事業費 | 11,321 | 0.1 | 1,507 | 0.0 | 9,814 | 651.2 | 0.1 |
| | 小計 | 699,705 | 4.9 | 843,159 | 5.7 | △143,454 | △17.0 | △0.8 |
| 公債費 | 755,344 | 5.3 | 736,979 | 5.0 | 18,365 | 2.5 | 0.3 | |
| 積立金 | 320,298 | 2.2 | 842,198 | 5.7 | △521,900 | △62.0 | △3.5 | |
| 投資及び出資金 | 141,244 | 1.0 | 148,708 | 1.0 | △7,464 | △5.0 | 0.0 | |
| 貸付金 | 163,500 | 1.2 | 201,500 | 1.4 | △38,000 | △18.9 | △0.2 | |
| 繰出金 | 1,091,930 | 7.6 | 1,048,341 | 7.1 | 43,589 | 4.2 | 0.5 | |
| 歳出合計 | 14,303,921 | 100.0 | 14,774,294 | 100.0 | △470,373 | △3.2 | 0.0 | |
| 義務的経費 ※ | 7,169,679 | 50.1 | 7,543,224 | 51.1 | △373,545 | △5.0 | △1.0 | |

※「義務的経費」とは、人件費、扶助費及び公債費の計をいう。

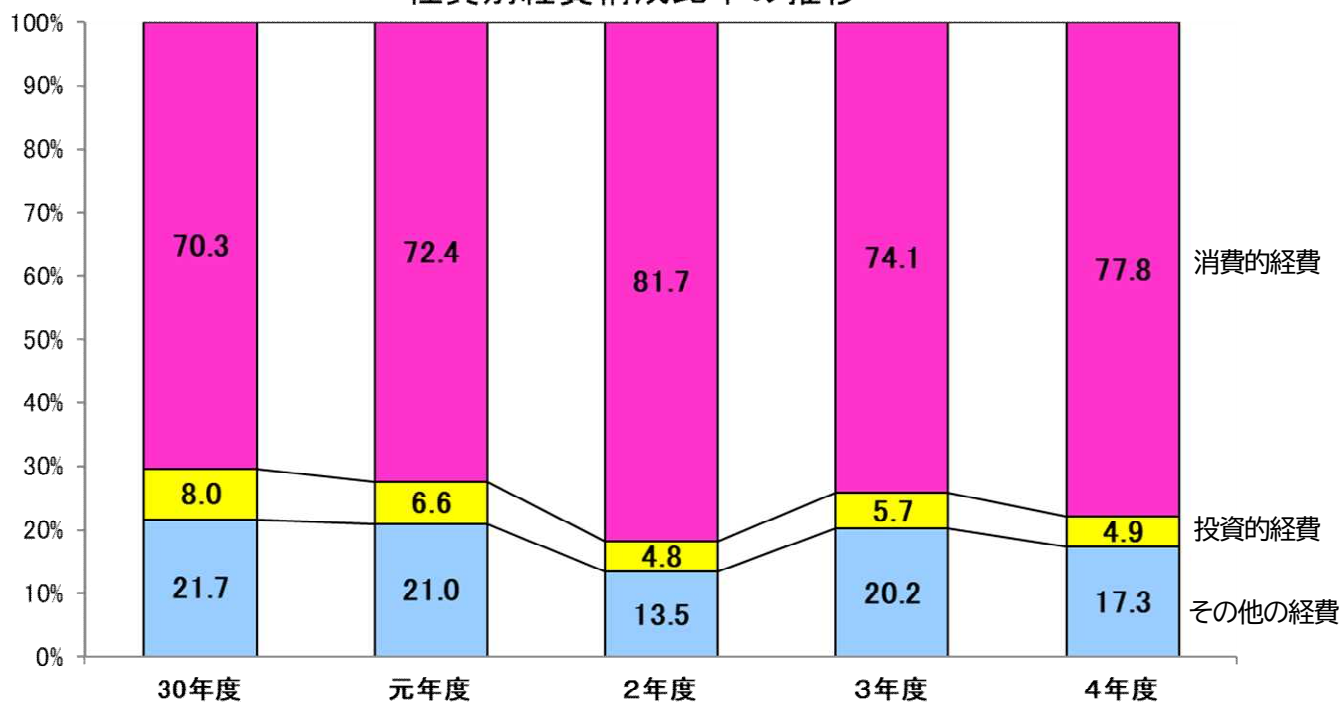
本年度の消費的経費は11,131,900千円で、前年度に比べ178,491千円(1.6%)増加した。これは、主に補助費等(328,728千円の増)、物件費(219,136千円の増)などが増加したことによるものである。

投資的経費は699,705千円で、前年度に比べ143,454千円(17.0%)減少した。これは、主に普通建設事業費(153,268千円の減)が減少したことによるものである。

その他の経費は、公債費が755,344千円で前年度に比べ18,365千円(2.5%)、繰出金が1,091,930千円で前年度に比べ43,589千円(4.2%)それぞれ増加し、積立金が320,298千円で前年度に比べ521,900千円(62.0%)、投資及び出資金が141,244千円で前年度に比べ7,464千円(5.0%)、貸付金が163,500千円で、前年度に比べ38,000千円(18.9%)それぞれ減少している。

歳出総額に占める各経費の構成比を前年度と比較すると、消費的経費は3.7ポイント上昇し、投資的経費が0.8ポイント、その他の経費が2.9ポイントそれぞれ低下している。

性質別経費構成比率の推移



※ グラフ中の『その他の経費』は公債費、積立金、投資及び出資金、貸付金、繰出金の各構成比の合計である。

ウ 翌年度繰越額

翌年度繰越額は92,762千円で、前年度に比べ29,617千円(46.9%)増加している。

予算現額に対する割合は0.6%となっている。

繰越額の内容は次表のとおりである。

(単位：円)

| 分 | 事業等名 | 繰越額 | 一般財源 |
|------------|---------------------|------------|------------|
| 繰越明許費繰越し | 衛生プラント計測機器購入事業費 | 1,078,000 | 1,078,000 |
| | 町道中津2325号線改良工事 | 12,700,000 | 1,300,000 |
| | 町道半原7370号線改良工事 | 18,000,000 | 1,800,000 |
| | 道路空間創出事業費 | 3,100,000 | 3,100,000 |
| | 公共下水道事業会計補助金 | 29,522,000 | 29,522,000 |
| | 愛川東中学校トイレバリアフリー改修工事 | 3,300,000 | 3,300,000 |
| | 文化会館かえで広場タイル改修工事 | 24,600,000 | 24,600,000 |
| 繰越明許費繰越し合計 | | 92,300,000 | 64,700,000 |
| 継続費通次繰越し | 都市計画区域線引き見直し事業費 | 462,000 | 462,000 |
| 継続費通次繰越し合計 | | 462,000 | 462,000 |
| 繰越額合計 | | 92,762,000 | 65,162,000 |

エ 不用額

不用額の前年度比較は、次表のとおりである。

不用額対前年度比較

(単位：円・%)

| 年度 款 | 4年度 | | 3年度 | | 増減額 | 増減率 |
|----------|-------------|-------|-------------|-------|---------------|----------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | |
| 1 議会費 | 2,686,396 | 0.4 | 3,302,441 | 0.5 | △ 616,045 | △18.7 |
| 2 総務費 | 57,014,522 | 8.2 | 51,676,657 | 7.9 | 5,337,865 | 10.3 |
| 3 民生費 | 219,190,782 | 31.6 | 359,784,161 | 54.7 | △ 140,593,379 | △39.1 |
| 4 衛生費 | 196,057,716 | 28.3 | 51,417,782 | 7.8 | 144,639,934 | 281.3 |
| 5 農林水産業費 | 34,959,856 | 5.0 | 14,524,992 | 2.2 | 20,434,864 | 140.7 |
| 6 商工費 | 22,629,399 | 3.3 | 14,549,003 | 2.2 | 8,080,396 | 55.5 |
| 7 土木費 | 84,972,681 | 12.2 | 67,206,342 | 10.2 | 17,766,339 | 26.4 |
| 8 消防費 | 8,930,193 | 1.3 | 3,660,852 | 0.6 | 5,269,341 | 143.9 |
| 9 教育費 | 35,092,965 | 5.1 | 36,103,560 | 5.5 | △ 1,010,595 | △2.8 |
| 10 災害復旧費 | 1,637,330 | 0.2 | 705,730 | 0.1 | 931,600 | 132.0 |
| 11 公債費 | 2,414,817 | 0.3 | 10,220 | 0.0 | 2,404,597 | 23,528.3 |
| 12 諸支出金 | 0 | 0.0 | 20,000,000 | 3.0 | △ 20,000,000 | 皆減 |
| 13 予備費 | 28,096,765 | 4.1 | 35,125,725 | 5.3 | △ 7,028,960 | △20.0 |
| 合計 | 693,683,422 | 100.0 | 658,067,465 | 100.0 | 35,615,957 | 5.4 |

本年度の不用額は693,683千円で、前年度に比べ35,616千円(5.4%)増加した。

これは、民生費が140,593千円(39.1%)、諸支出金が20,000千円(皆減)、予備費が7,029千円(20.0%)、教育費が1,011千円(2.8%)、議会費が616千円(18.7%)それぞれ減少したが、

衛生費が144,640千円(281.3%)、農林水産業費が20,435千円(140.7%)、土木費が17,766千円(26.4%)、商工費が8,080千円(55.5%)、総務費が5,338千円(10.3%)、消防費が5,269千円(143.9%)、公債費が2,405千円(23,528.3%)、災害復旧費が932千円(132.0%)それぞれ増加したことによるものである。

なお、不用額の予算現額に対する比率は4.6%で、前年度と比べ0.4ポイント上昇している。

オ 各款別決算

【第1款】 議会費

(単位：円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----------|-------------|-------------|--------|-----------|------|
| 4年度 | 169,963,000 | 167,276,604 | 0 | 2,686,396 | 98.4 |
| 3年度 | 168,705,000 | 165,402,559 | 0 | 3,302,441 | 98.0 |
| 比較増減 | 1,258,000 | 1,874,045 | 0 | △ 616,045 | 0.4 |

支出済額は167,277千円で、前年度に比べ1,874千円(1.1%)増加した。

歳出総額の1.2%を占めている。

支出済額の主なものは、議員報酬及び手当114,540千円である。

不用額は、2,686千円で、その主なものは、議会運営一般管理費、議員調査活動経費、交際費などで、いずれも執行残によるものである。

【第2款】 総務費

(単位:円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----------|---------------|---------------|--------------|------------|------|
| 4年度 | 1,706,604,373 | 1,649,589,851 | 0 | 57,014,522 | 96.7 |
| 3年度 | 1,710,810,125 | 1,643,854,468 | 15,279,000 | 51,676,657 | 96.1 |
| 比較増減 | △ 4,205,752 | 5,735,383 | △ 15,279,000 | 5,337,865 | 0.6 |

項別執行状況

(単位:円・%)

| 区分 項 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|-----------|---------------|---------------|--------|------------|------|
| 総務管理費 | 1,365,678,068 | 1,317,072,917 | 0 | 48,605,151 | 96.4 |
| 徴税費 | 176,862,242 | 175,261,664 | 0 | 1,600,578 | 99.1 |
| 戸籍住民基本台帳費 | 83,339,116 | 81,184,040 | 0 | 2,155,076 | 97.4 |
| 選挙費 | 56,233,000 | 51,883,317 | 0 | 4,349,683 | 92.3 |
| 統計調査費 | 896,000 | 632,336 | 0 | 263,664 | 70.6 |
| 監査委員費 | 23,595,947 | 23,555,577 | 0 | 40,370 | 99.8 |
| 計 | 1,706,604,373 | 1,649,589,851 | 0 | 57,014,522 | 96.7 |

支出済額は1,649,590千円で、前年度に比べ5,736千円(0.3%)増加した。

歳出総額の11.5%を占めている。支出済額の主なものは、一般管理費の町内循環バス運行事業費38,865千円、文書費の文書事務一般管理費24,781千円、地域づくり活動費の地域づくり活動事業費24,383千円、財政管理費のふるさと納税推進事業費37,345千円、財産管理費の財産管理経費39,958千円、庁舎等維持管理経費67,237千円、企画費の観光・産業連携拠点づくり推進事業費49,125千円、情報システム管理費の情報ネットワークシステム管理経費41,635千円、神奈川県町村情報システム共同化推進事業費74,621千円、財政調整基金費の財政調整基金積立金180,849千円、諸費の過年度歳入償還金25,580千円などである。

不用額は57,014千円で、その主なものは、一般管理費の一般管理経費、財政管理費のふるさと納税推進事業費、企画費の観光・産業連携拠点づくり推進事業費、諸費の過年度歳入償還金、町長選挙費の町長選挙経費などで、いずれも執行残によるものである。

【第3款】 民生費

(単位:円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----------|---------------|---------------|-------------|---------------|------|
| 4年度 | 5,774,259,320 | 5,555,068,538 | 0 | 219,190,782 | 96.2 |
| 3年度 | 6,330,977,000 | 5,961,705,839 | 9,487,000 | 359,784,161 | 94.2 |
| 比較増減 | △ 556,717,680 | △ 406,637,301 | △ 9,487,000 | △ 140,593,379 | 2.0 |

項別執行状況

(単位:円・%)

| 区分 項 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|---------|---------------|---------------|--------|-------------|------|
| 社会福祉費 | 3,693,790,160 | 3,586,947,628 | 0 | 106,842,532 | 97.1 |
| 児童福祉費 | 2,080,469,160 | 1,968,120,910 | 0 | 112,348,250 | 94.6 |
| 計 | 5,774,259,320 | 5,555,068,538 | 0 | 219,190,782 | 96.2 |

支出済額は5,555,068千円で、前年度に比べ406,638千円(6.8%)減少した。

歳出総額の38.8%を占めている。

支出済額の主なものは、社会福祉総務費の国民健康保険特別会計繰出金503,940千円、介護保険特別会計繰出金495,969千円、後期高齢者医療広域連合負担金342,028千円、価格高騰緊急支援給付金給付事業費173,900千円、障害福祉費の障害者介護給付・訓練等給付事業費1,181,720千円、児童運営費の児童手当支給事業費524,204千円などである。

不用額は219,191千円で、その主なものは、社会福祉総務費の介護保険特別会計繰出金、価格高騰緊急支援給付金給付事業費、障害福祉費の障害者介護給付・訓練等給付事業費、児童福祉総務費の小児医療費助成事業費、児童運営費の児童手当支給事業費、施設型給付事業費、地域型保育給付事業費などで、いずれも執行残によるものである。

【第4款】 衛生費

(単位:円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----------|---------------|---------------|--------------|-------------|------|
| 4年度 | 2,158,415,597 | 1,961,279,881 | 1,078,000 | 196,057,716 | 90.9 |
| 3年度 | 1,962,576,928 | 1,883,388,980 | 27,770,166 | 51,417,782 | 96.0 |
| 比較増減 | 195,838,669 | 77,890,901 | △ 26,692,166 | 144,639,934 | △5.1 |

項別執行状況

(単位:円・%)

| 区分 項 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|---------|---------------|---------------|-----------|-------------|------|
| 保健衛生費 | 1,273,710,597 | 1,117,003,877 | 0 | 156,706,720 | 87.7 |
| 清掃費 | 884,705,000 | 844,276,004 | 1,078,000 | 39,350,996 | 95.4 |
| 計 | 2,158,415,597 | 1,961,279,881 | 1,078,000 | 196,057,716 | 90.9 |

支出済額は1,961,280千円で、前年度に比べ77,891千円(4.1%)増加した。

歳出総額の13.7%を占めている。

支出済額の主なものは、予防費の乳幼児等予防接種事業費65,507千円、生活習慣病検診事業費45,828千円、新型コロナウイルスワクチン接種事業費543,410千円、いのちを守る基金費のいのちを守る基金積立金54,884千円、塵芥処理費の塵芥処理施設運転経費101,127千円、可燃ごみ等収集運搬経費101,134千円、可燃ごみ等処理経費235,270千円、資源リサイクル処理経費67,797千円、し尿処理費のし尿処理施設維持管理経費43,861千円などである。

翌年度繰越額1,078千円は、清掃費の衛生プラント計測機器購入事業費の繰越明許費繰越である。

不用額は196,058千円で、その主なものは、予防費の乳幼児等予防接種事業費、新型コロナウイルスワクチン接種事業費、新型コロナウイルスワクチン接種事業費(递次繰越分)、保健衛生費の空き家対策推進事業費、塵芥処理費の可燃ごみ等収集運搬経費、可燃ごみ等

処理経費などで、いずれも執行残によるものである。

【第5款】 農林水産業費

(単位:円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----------|-------------|-------------|-----------|------------|------|
| 4年度 | 236,613,200 | 201,653,344 | 0 | 34,959,856 | 85.2 |
| 3年度 | 168,886,850 | 153,450,658 | 911,200 | 14,524,992 | 90.9 |
| 比較増減 | 67,726,350 | 48,202,686 | △ 911,200 | 20,434,864 | △5.7 |

項別執行状況

(単位:円・%)

| 区分 項 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|---------|-------------|-------------|--------|------------|------|
| 農業費 | 181,061,200 | 168,200,603 | 0 | 12,860,597 | 92.9 |
| 林業費 | 55,552,000 | 33,452,741 | 0 | 22,099,259 | 60.2 |
| 計 | 236,613,200 | 201,653,344 | 0 | 34,959,856 | 85.2 |

支出済額は201,653千円で、前年度に比べ48,202千円(31.4%)増加した。

歳出総額の1.4%を占めている。

支出済額の主なものは、農業委員会費の農業委員等関係経費6,466千円、農業振興費の農業振興推進事業費4,759千円、有害鳥獣対策事業費6,866千円、農業経営安定化支援事業費9,986千円、畜産費の畜産振興事業費36,648千円、農地費の農業用水路整備事業費15,458千円、林業振興費の林業振興管理経費33,247千円などである。

不用額は34,960千円で、その主なものは、農業振興費の有害鳥獣対策事業費、畜産費の畜産振興事業費、農地費の農業用水路整備事業費、農村環境改善センター施設費の農村環境改善センター業務管理経費、林業振興費の林業振興事業費などで、いずれも執行残によるものである。

【第6款】 商工費

(単位:円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----------|-------------|-------------|--------|------------|------|
| 4年度 | 527,075,000 | 504,445,601 | 0 | 22,629,399 | 95.7 |
| 3年度 | 380,831,000 | 366,281,997 | 0 | 14,549,003 | 96.2 |
| 比較増減 | 146,244,000 | 138,163,604 | 0 | 8,080,396 | △0.5 |

支出済額は504,445千円で、前年度に比べ138,163千円(37.7%)増加した。

歳出総額の3.5%を占めている。

支出済額の主なものは、商工振興費の新型コロナウイルス感染症対策地域経済振興商品券事業費(第3弾)118,463千円、原油価格・物価高騰対策地域振興券事業費116,118千円、中小企業事業資金預託金22,000千円、勤労福祉費の勤労者生活資金預託金44,000千円、勤労者総合資金預託金90,000千円などである。

不用額は22,629千円で、その主なものは、商工振興費の商工振興対策事業費、新型コロナ

ウイルス感染症対策地域経済振興商品券事業費（第3弾）、原油価格・物価高騰対策地域振興券事業費、勤労福祉費の勤労者福祉対策事業費などで、いずれも執行残によるものである。

【第7款】 土木費

(単位:円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----------|---------------|---------------|------------|------------|------|
| 4年度 | 1,433,390,390 | 1,284,633,709 | 63,784,000 | 84,972,681 | 89.6 |
| 3年度 | 1,830,638,860 | 1,762,762,518 | 670,000 | 67,206,342 | 96.3 |
| 比較増減 | △ 397,248,470 | △ 478,128,809 | 63,114,000 | 17,766,339 | △6.7 |

項別執行状況

(単位:円・%)

| 区分 項 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|---------|---------------|---------------|------------|------------|------|
| 土木管理費 | 64,934,400 | 64,645,814 | 0 | 288,586 | 99.6 |
| 道路橋りょう費 | 646,795,000 | 540,710,376 | 33,800,000 | 72,284,624 | 83.6 |
| 都市計画費 | 688,651,880 | 646,446,553 | 29,984,000 | 12,221,327 | 93.9 |
| 住宅費 | 33,009,110 | 32,830,966 | 0 | 178,144 | 99.5 |
| 計 | 1,433,390,390 | 1,284,633,709 | 63,784,000 | 84,972,681 | 89.6 |

支出済額は1,284,634千円で、前年度に比べ478,128千円(27.1%)減少した。

歳出総額の9.0%を占めている。

支出済額のかなものは、道路新設改良費の幹線道路整備事業費97,165千円、地域生活道路整備事業費132,567千円、平山下平線整備事業費102,173千円、橋りょう維持費の橋りょう維持管理経費39,943千円、都市計画総務費の公共下水道事業会計負担金等403,186千円、公共施設整備基金費の公共施設整備基金積立金50,022千円などである。

翌年度繰越額63,784千円は、都市計画費の都市計画区域線引き見直し事業費の継続費通次繰越462千円と道路橋りょう費の町道中津2325号線改良工事12,700千円、町道半原7370号線改良工事18,000千円、道路空間創出事業費3,100千円、都市計画費の公共下水道事業会計補助金29,522千円の繰越明許費繰越である。

不用額は84,973千円で、その主なものは、道路新設改良費の幹線道路整備事業費、地域生活道路整備事業費、平山下平線整備事業費、橋りょう維持費の橋りょう維持管理経費などで、いずれも執行残によるものである。

【第8款】 消防費

(単位:円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----------|-------------|-------------|--------|-----------|------|
| 4年度 | 778,315,000 | 769,384,807 | 0 | 8,930,193 | 98.9 |
| 3年度 | 666,105,271 | 662,444,419 | 0 | 3,660,852 | 99.5 |
| 比較増減 | 112,209,729 | 106,940,388 | 0 | 5,269,341 | △0.6 |

支出済額は769,385千円で、前年度に比べ106,941千円(16.1%)増加した。

歳出総額の5.4%を占めている。

支出済額のかなものは、常備消防費の常備消防管理経費80,978千円、消防庁舎維持管理経

費17,556千円、消防車両購入事業費38,988千円、非常備消防費の消防団員報酬14,109千円、消防団運営費等補助金8,245千円などである。

不用額は8,930千円で、その主なものは、非常備消防費の非常備消防一般管理費、消防団員報酬、火災出動報酬等、消防団活動用品購入費などで、いずれも執行残によるものである。

【第9款】 教育費

(単位:円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----------|---------------|---------------|------------|-------------|------|
| 4年度 | 1,503,633,721 | 1,440,640,756 | 27,900,000 | 35,092,965 | 95.8 |
| 3年度 | 1,431,048,160 | 1,385,916,600 | 9,028,000 | 36,103,560 | 96.8 |
| 比較増減 | 72,585,561 | 54,724,156 | 18,872,000 | △ 1,010,595 | △1.0 |

項別執行状況

(単位:円・%)

| 区分 項 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|---------|---------------|---------------|------------|------------|------|
| 教育総務費 | 301,689,272 | 294,529,236 | 0 | 7,160,036 | 97.6 |
| 小学校費 | 466,999,156 | 461,974,306 | 0 | 5,024,850 | 98.9 |
| 中学校費 | 219,069,000 | 208,476,923 | 3,300,000 | 7,292,077 | 95.2 |
| 社会教育費 | 389,224,784 | 351,836,819 | 24,600,000 | 12,787,965 | 90.4 |
| 保健体育費 | 126,651,509 | 123,823,472 | 0 | 2,828,037 | 97.8 |
| 計 | 1,503,633,721 | 1,440,640,756 | 27,900,000 | 35,092,965 | 95.8 |

支出済額は1,440,641千円で、前年度に比べ54,724千円(3.9%)増加した。

歳出総額の10.1%を占めている。

支出済額の主なものは、小学校費中の学校管理費の学校施設維持管理経費85,567千円、給食費の親子給食運営事業費168,883千円、教育振興費の情報教育推進事業費49,215千円、中学校費中の学校管理費の学校施設維持管理経費48,029千円、給食費の親子給食運営事業費29,466千円、教育振興費の情報教育推進事業費344,033千円、公民館費の文化会館維持管理経費57,955千円などである。

翌年度繰越額27,900千円は全て繰越明許費繰越で、中学校費の愛川東中学校トイレバリアフリー改修工事3,300千円、社会教育費の文化会館かえで広場タイル改修工事24,600千円である。

不用額は35,093千円で、その主なものは、小学校費中の学校管理費の学校施設維持管理経費、中学校費中の学校管理費の学校施設維持管理経費、教育振興費の要保護・準要保護生徒就学援助事業費、公民館費の文化会館維持管理経費、中津公民館維持管理経費、郷土資料館費の郷土資料館維持管理経費などで、いずれも執行残によるものである。

【第10款】 災害復旧費

(単位:円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----------|------------|------------|--------|-----------|------|
| 4年度 | 13,241,000 | 11,603,670 | 0 | 1,637,330 | 87.6 |
| 3年度 | 2,813,000 | 2,107,270 | 0 | 705,730 | 74.9 |
| 比較増減 | 10,428,000 | 9,496,400 | 0 | 931,600 | 12.7 |

項別執行状況

(単位:円・%)

| 区分 項 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|-------------|------------|------------|--------|-----------|------|
| 農林水産施設災害復旧費 | 341,000 | 0 | 0 | 341,000 | 0.0 |
| 土木施設災害復旧費 | 12,900,000 | 11,603,670 | 0 | 1,296,330 | 90.0 |
| 計 | 13,241,000 | 11,603,670 | 0 | 1,637,330 | 87.6 |

支出済額は11,604千円で、前年度に比べ9,497千円(450.7%)増加した。

歳出総額の0.1%を占めている。

支出済額の主なものは、道路橋りょう災害復旧事業費の道路橋りょう災害復旧事業費11,580千円、道路橋りょう災害復旧管理経費24千円である。

不用額は1,637千円で、その主なものは、道路橋りょう災害復旧事業費の執行残である。

【第11款】 公債費

(単位:円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----------|-------------|-------------|--------|-----------|-------|
| 4年度 | 757,759,000 | 755,344,183 | 0 | 2,414,817 | 99.7 |
| 3年度 | 736,989,000 | 736,978,780 | 0 | 10,220 | 100.0 |
| 比較増減 | 20,770,000 | 18,365,403 | 0 | 2,404,597 | △0.3 |

支出済額は755,344千円で、前年度に比べ18,365千円(2.5%)増加した。

歳出総額の5.3%を占めている。

支出済額は、公債費の町債償還元金730,966千円、町債償還元金利子24,378千円である。

不用額は2,415千円で、その主なものは、町債償還元金利子の執行残である。

【第12款】 諸支出金

(単位:円・%)

| 区分 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----------|-------------|-------------|--------|-------------|-------|
| 4年度 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 | 0 | 100.0 |
| 3年度 | 70,000,000 | 50,000,000 | 0 | 20,000,000 | 71.4 |
| 比較増減 | △67,000,000 | △47,000,000 | 0 | △20,000,000 | 28.6 |

支出済額は3,000千円で、前年度に比べ47,000千円(94.0%)減少した。

歳出総額の0.02%を占めている。

支出済額は、貸付金の土地開発公社貸付金である。

不用額はなかった。

【第13款】 予備費

(単位：円)

| 区分 年度 | 当初予算 | 補正予算 | 予備費充当額 | 予算現額 |
|----------|------------|------|------------|-------------|
| 4年度 | 60,000,000 | 0 | 31,903,235 | 28,096,765 |
| 3年度 | 60,000,000 | 0 | 24,874,275 | 35,125,725 |
| 比較増減 | 0 | 0 | 7,028,960 | △ 7,028,960 |

予備費の各款支出額の合計は31,903千円で、前年度に比べ7,029千円(28.3%)増加した。

内訳は次表のとおりである。

(単位：円)

| 款 | 年度 | 4年度 | 3年度 | 増減額 |
|---------|----|------------|------------|-------------|
| | | 金額 | 金額 | |
| 2総務費 | | 13,776,373 | 17,083,125 | △ 3,306,752 |
| 3民生費 | | 1,014,320 | 0 | 1,014,320 |
| 4衛生費 | | 4,088,431 | 1,726,709 | 2,361,722 |
| 5農林水産業費 | | 1,589,000 | 13,850 | 1,575,150 |
| 6商工費 | | 0 | 0 | 0 |
| 7土木費 | | 4,548,390 | 462,160 | 4,086,230 |
| 8消防費 | | 0 | 699,271 | △ 699,271 |
| 9教育費 | | 4,026,721 | 4,574,160 | △ 547,439 |
| 10災害復旧費 | | 2,860,000 | 315,000 | 2,545,000 |
| 合計 | | 31,903,235 | 24,874,275 | 7,028,960 |

3 特別会計

(1) 全般

ア 歳入

本年度の3特別会計歳入予算の執行状況は、次表のとおりである。

3 特別会計歳入予算執行状況

(単位：円)

| 会計 | 区分 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|---------|----|---------------|---------------|---------------|------------|-------------|
| 国民健康保険 | | 4,879,249,000 | 4,863,292,291 | 4,685,517,048 | 32,622,060 | 145,153,183 |
| 後期高齢者医療 | | 576,170,000 | 597,533,582 | 594,690,502 | 180,390 | 2,662,690 |
| 介護保険 | | 3,394,242,000 | 3,342,957,352 | 3,322,752,401 | 6,626,353 | 13,578,598 |
| 4年度合計 | | 8,849,661,000 | 8,803,783,225 | 8,602,959,951 | 39,428,803 | 161,394,471 |
| 3年度合計 | | 8,721,075,000 | 8,885,440,452 | 8,679,030,942 | 39,721,604 | 166,687,906 |
| 増減額 | | 128,586,000 | △81,657,227 | △76,070,991 | △292,801 | △5,293,435 |

調定額は8,803,783千円で、前年度に比べ81,657千円(0.9%)減少した。

予算現額に対する調定率は99.5%で、前年度に比べ2.4ポイント低下した。

収入済額は8,602,960千円で、前年度に比べ76,071千円(0.9%)減少した。

予算現額に対する収入率は97.2%で、前年度に比べ2.3ポイント低下した。

不納欠損額は39,429千円で、前年度に比べ293千円(0.7%)減少した。

収入未済額は161,394千円で、前年度に比べ5,293千円(3.2%)減少した。

イ 歳出

本年度の3特別会計歳出予算の執行状況は、次表のとおりである。

3 特別会計歳出予算執行状況

(単位：円)

| 会計 | 区分 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|---------|----|---------------|---------------|--------|-------------|
| 国民健康保険 | | 4,879,249,000 | 4,649,180,528 | 0 | 230,068,472 |
| 後期高齢者医療 | | 576,170,000 | 566,330,482 | 0 | 9,839,518 |
| 介護保険 | | 3,394,242,000 | 3,227,379,803 | 6,000 | 166,856,197 |
| 4年度合計 | | 8,849,661,000 | 8,442,890,813 | 6,000 | 406,764,187 |
| 3年度合計 | | 8,721,075,000 | 8,618,556,425 | 0 | 102,518,575 |
| 増減額 | | 128,586,000 | △175,665,612 | 6,000 | 304,245,612 |

支出済額は8,442,891千円で、前年度に比べ175,666千円(2.0%)減少した。

予算現額に対する執行率は95.4%で、前年度に比べ3.4ポイント低下した。

不用額は406,764千円で、前年度に比べ304,246千円(296.8%)増加した。

(2) 国民健康保険特別会計

ア 決算収支

決算額は、歳入総額4,685,517千円、歳出総額4,649,181千円で、前年度に比べ、歳入は261,075千円(5.3%)、歳出は277,451千円(5.6%)それぞれ減少した。

形式収支は36,336千円で、前年度に比べ16,376千円(82.0%)増加した。

実質収支は形式収支と同額で、単年度収支は16,376千円の黒字である。

決算収支の状況は、次表のとおりである。

国民健康保険特別会計決算収支状況

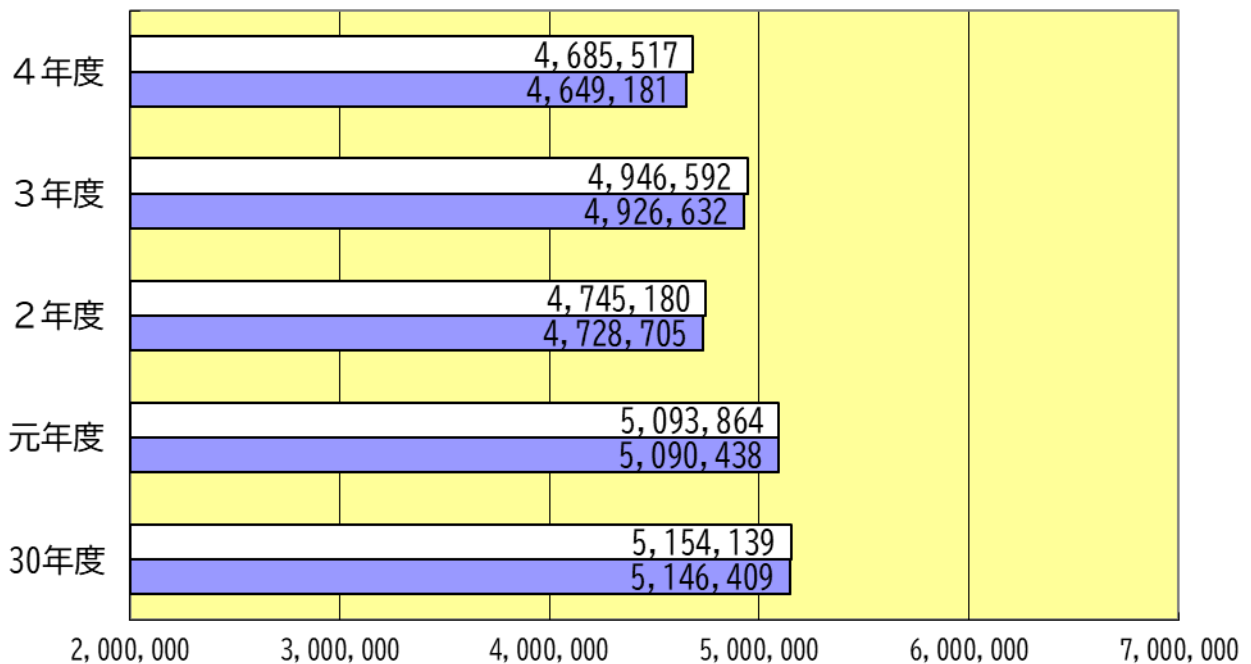
(単位：円・%)

| 区分 | 年度 | 4年度 | 3年度 | 増減額 | 増減率 |
|----|---------------|---------------|---------------|---------------|-------|
| A | 歳入総額 | 4,685,517,048 | 4,946,591,935 | △ 261,074,887 | △5.3 |
| B | 歳出総額 | 4,649,180,528 | 4,926,632,142 | △ 277,451,614 | △5.6 |
| C | 歳入歳出差引額 (A-B) | 36,336,520 | 19,959,793 | 16,376,727 | 82.0 |
| D | 翌年度へ繰越すべき財源 | 0 | 0 | 0 | - |
| E | 実質収支額 | 36,336,520 | 19,959,793 | 16,376,727 | 82.0 |
| F | 単年度収支(E-前年度E) | 16,376,727 | 3,484,070 | 12,892,657 | 370.0 |

国保会計決算収支の推移

□歳入総額 ■歳出総額

(単位：千円)



イ 歳入

調定額4,863,292千円に対し、収入済額は4,685,517千円で、前年度に比べ261,075千円(5.3%)減少し、調定額に対する収入率は96.3%となっている。

増減の主なものは、繰入金35,056千円(7.2%)、繰越金3,485(21.2%)の増加と、県支出金255,617千円(7.3%)、国民健康保険税37,836千円(4.0%)、諸収入4,824千円(28.9%)の減少である。

不納欠損額は32,622千円で、前年度に比べ1,469千円(4.3%)減少した。

収入未済額は145,153千円で、前年度に比べ5,242千円(3.5%)減少した。

本年度の歳入款別決算状況は、次表のとおりである。

歳入款別決算状況

(単位：円・%)

| 款 | 区分 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-------|---------|---------------|---------------|---------------|-------------|-------------|---------|-------|
| | | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 1 | 国民健康保険税 | 896,114,000 | 1,080,960,374 | 909,182,215 | 31,591,705 | 140,186,454 | 101.5 | 84.1 |
| 2 | 国庫支出金 | 1,000 | 24,000 | 24,000 | 0 | 0 | 2,400.0 | 100.0 |
| 3 | 県支出金 | 3,429,813,000 | 3,224,550,844 | 3,224,550,844 | 0 | 0 | 94.0 | 100.0 |
| 4 | 財産収入 | 1,000 | 247 | 247 | 0 | 0 | 24.7 | 100.0 |
| 5 | 繰入金 | 523,556,000 | 519,939,667 | 519,939,667 | 0 | 0 | 99.3 | 100.0 |
| 6 | 繰越金 | 19,960,000 | 19,959,793 | 19,959,793 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| 7 | 諸収入 | 9,804,000 | 17,857,366 | 11,860,282 | 1,030,355 | 4,966,729 | 121.0 | 66.4 |
| 4年度合計 | | 4,879,249,000 | 4,863,292,291 | 4,685,517,048 | 32,622,060 | 145,153,183 | 96.0 | 96.3 |
| 3年度合計 | | 4,991,266,000 | 5,131,077,349 | 4,946,591,935 | 34,090,744 | 150,394,670 | 99.1 | 96.4 |
| 増減額 | | △ 112,017,000 | △ 267,785,058 | △ 261,074,887 | △ 1,468,684 | △ 5,241,487 | △3.1 | △0.1 |

歳入款別決算対前年度比較

(単位：円・%)

| 款 | 年度 | 4年度 | 3年度 | 増減額 | 増減率 |
|----|---------|---------------|---------------|---------------|-------|
| 1 | 国民健康保険税 | 909,182,215 | 947,018,056 | △ 37,835,841 | △4.0 |
| 2 | 国庫支出金 | 24,000 | 1,364,000 | △ 1,340,000 | △98.2 |
| 3 | 県支出金 | 3,224,550,844 | 3,480,167,400 | △ 255,616,556 | △7.3 |
| 4 | 財産収入 | 247 | 143 | 104 | 72.7 |
| 5 | 繰入金 | 519,939,667 | 484,883,298 | 35,056,369 | 7.2 |
| 6 | 繰越金 | 19,959,793 | 16,475,723 | 3,484,070 | 21.1 |
| 7 | 諸収入 | 11,860,282 | 16,683,315 | △ 4,823,033 | △28.9 |
| 合計 | | 4,685,517,048 | 4,946,591,935 | △ 261,074,887 | △5.3 |

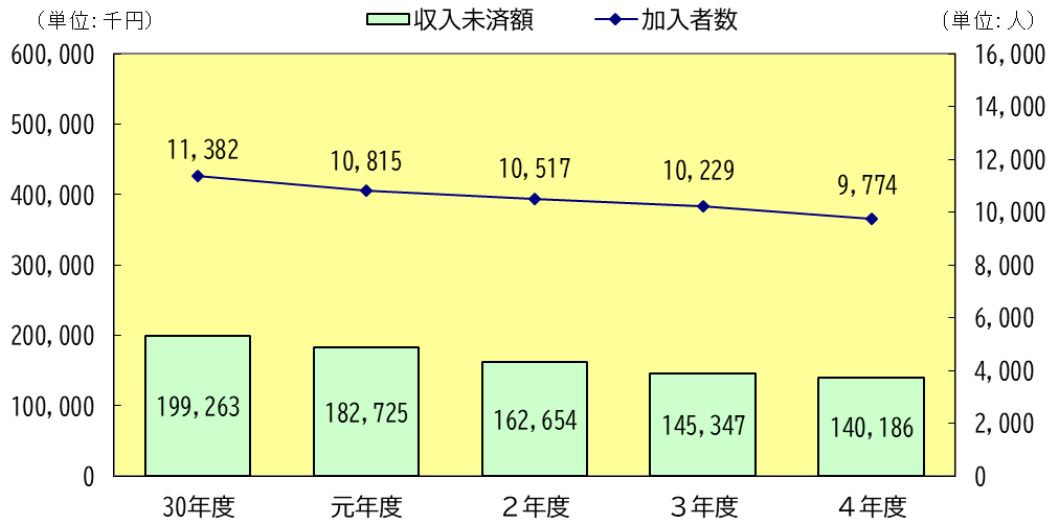
国民健康保険税の収入状況は、次表のとおりである。

国民健康保険税収入状況

(単位:円・%)

| 区分 種別 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 対予算 | 対調定 | |
|----------|-------------|---------------|-------------|------------|-------------|-------|------|------|
| | | | | | | | 本年度 | 前年度 |
| 現年度分 | 860,614,000 | 938,914,900 | 875,896,177 | 0 | 63,018,723 | 101.8 | 93.3 | 94.1 |
| 一般医療 | 596,816,000 | 651,167,505 | 608,876,993 | 0 | 42,290,512 | 102.0 | 93.5 | 92.1 |
| 一般後期 | 200,781,000 | 219,066,795 | 204,212,318 | 0 | 14,854,477 | 101.7 | 93.2 | 98.2 |
| 一般介護 | 63,014,000 | 68,680,600 | 62,806,866 | 0 | 5,873,734 | 99.7 | 91.4 | 99.3 |
| 退職医療 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 退職後期 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 退職介護 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 過年度分 | 35,500,000 | 142,045,474 | 33,286,038 | 31,591,705 | 77,167,731 | 93.8 | 23.4 | 23.1 |
| 一般医療 | 17,635,000 | 74,016,655 | 21,763,313 | 21,487,611 | 30,765,731 | 123.4 | 29.4 | 33.4 |
| 一般後期 | 9,876,000 | 24,327,005 | 4,579,591 | 6,667,031 | 13,080,383 | 46.4 | 18.8 | 24.9 |
| 一般介護 | 7,760,000 | 20,810,838 | 6,942,172 | 3,368,363 | 10,500,303 | 89.5 | 33.4 | 18.8 |
| 退職医療 | 115,000 | 15,158,240 | 383 | 43,644 | 15,114,213 | 0.3 | 0.0 | 0.0 |
| 退職後期 | 64,000 | 3,836,511 | 265 | 15,400 | 3,820,846 | 0.4 | 0.0 | 0.0 |
| 退職介護 | 50,000 | 3,896,225 | 314 | 9,656 | 3,886,255 | 0.6 | 0.0 | 0.0 |
| 合計 | 896,114,000 | 1,080,960,374 | 909,182,215 | 31,591,705 | 140,186,454 | 101.5 | 84.1 | 84.1 |

収入未済額と加入者の推移



※注 加入者数は年間平均加入者数である。

国民健康保険税の収入済額は909,182千円で、前年度に比べ37,836千円(4.0%)減少し、歳入総額の19.4%を占めている。収入率(対調定)は現年度分が93.3%で、前年度に比べ0.8ポイント低下、過年度分は23.4%で、前年度に比べ0.3ポイント上昇し、全体の収納率は84.1%で、前年度と同率である。

不納欠損額は31,592千円で、前年度に比べ1,509千円(4.6%)減少した。

収入未済額は140,186千円で、前年度に比べ5,161千円(3.6%)減少した。

ウ 歳出

支出済額は4,649,181千円で、前年度に比べ277,451千円(5.6%)減少した。

これは、保険給付費279,004千円(8.1%)、基金積立16,465千円(100%)、総務費1,109千円(1.4%)が減少したものの、国民健康保険事業費納付金3,657千円(0.3%)、保健事業費14,855千円(27.1%)、諸支出金615千円(13.1%)がそれぞれ増加したことによるものである。

不用額は230,068千円で、その主な要因は、保険給付費217,447千円の執行残によるものである。

本年度の歳出款別決算状況は、次表のとおりである。

歳出款別決算状況

(単位：円・%)

| 款 | 区分 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|--------------|---------------|---------------|--------|-------------|-------|
| 1 | 総務費 | 79,595,000 | 76,888,357 | 0 | 2,706,643 | 96.6 |
| 2 | 保険給付費 | 3,386,251,000 | 3,168,804,103 | 0 | 217,446,897 | 93.6 |
| 3 | 国民健康保険事業費納付金 | 1,328,468,000 | 1,328,465,737 | 0 | 2,263 | 100.0 |
| 4 | 共同事業拠出金 | 1,000 | 104 | 0 | 896 | 10.4 |
| 5 | 保健事業費 | 74,946,000 | 69,720,780 | 0 | 5,225,220 | 93.0 |
| 6 | 基金積立金 | 2,000 | 247 | 0 | 1,753 | 12.4 |
| 7 | 公債費 | 10,000 | 0 | 0 | 10,000 | 0.0 |
| 8 | 諸支出金 | 6,133,000 | 5,301,200 | 0 | 831,800 | 86.4 |
| 9 | 予備費 | 3,843,000 | 0 | 0 | 3,843,000 | 0.0 |
| 合計 | | 4,879,249,000 | 4,649,180,528 | 0 | 230,068,472 | 95.3 |

歳出款別決算対前年度比較

(単位：円・%)

| 款 | 年度 | 4年度 | 3年度 | 増減額 | 増減率 |
|----|--------------|---------------|---------------|---------------|--------|
| 1 | 総務費 | 76,888,357 | 77,997,327 | △ 1,108,970 | △1.4 |
| 2 | 保険給付費 | 3,168,804,103 | 3,447,808,377 | △ 279,004,274 | △8.1 |
| 3 | 国民健康保険事業費納付金 | 1,328,465,737 | 1,324,809,191 | 3,656,546 | 0.3 |
| 4 | 共同事業拠出金 | 104 | 69 | 35 | 50.7 |
| 5 | 保健事業費 | 69,720,780 | 54,865,135 | 14,855,645 | 27.1 |
| 6 | 基金積立金 | 247 | 16,466,143 | △ 16,465,896 | △100.0 |
| 7 | 公債費 | 0 | 0 | 0 | - |
| 8 | 諸支出金 | 5,301,200 | 4,685,900 | 615,300 | 13.1 |
| 9 | 予備費 | 0 | 0 | 0 | - |
| 合計 | | 4,649,180,528 | 4,926,632,142 | △ 277,451,614 | △5.6 |

(3) 後期高齢者医療特別会計

ア 決算収支

決算額は、歳入総額594,691千円、歳出総額566,330千円で、前年度に比べ、歳入は54,934千円(10.2%)、歳出は53,011千円(10.3%)それぞれ増加した。

形式収支は28,361千円で、前年度に比べ1,923千円(7.3%)増加した。

実質収支は形式収支と同額で、単年度収支は1,923千円の黒字である。

決算収支の状況は、次表のとおりである。

後期高齢者医療特別会計決算収支状況

(単位：円・%)

| 区分 | 年度 | 4年度 | 3年度 | 増減額 | 増減率 |
|----|---------------|-------------|-------------|------------|-------|
| A | 歳入総額 | 594,690,502 | 539,756,674 | 54,933,828 | 10.2 |
| B | 歳出総額 | 566,330,482 | 513,318,954 | 53,011,528 | 10.3 |
| C | 歳入歳出差引額(A-B) | 28,360,020 | 26,437,720 | 1,922,300 | 7.3 |
| D | 翌年度へ繰越すべき財源 | 0 | 0 | 0 | - |
| E | 実質収支額 | 28,360,020 | 26,437,720 | 1,922,300 | 7.3 |
| F | 単年度収支(E-前年度E) | 1,922,300 | 3,665,140 | △1,742,840 | △47.6 |

イ 歳入

調定額597,534千円に対し、収入済額は594,691千円で、前年度に比べ54,934千円(10.2%)増加しており、調定額に対する収入率は99.5%で、前年度より0.1ポイント下回っている。

収入済額は、後期高齢者医療保険料475,717千円、繰入金92,021千円、繰越金26,438千円、諸収入514千円、使用料及び手数料1千円である。

本年度の歳入款別決算状況は、次表のとおりである。

歳入款別決算状況

(単位：円・%)

| 款 | 区分 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|---|------------|-------------|-------------|-------------|----------|-----------|-------|-------|
| | | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 1 | 後期高齢者医療保険料 | 455,840,000 | 478,559,990 | 475,716,910 | 180,390 | 2,662,690 | 104.4 | 99.4 |
| 2 | 使用料及び手数料 | 1,000 | 300 | 300 | 0 | 0 | 30.0 | 100.0 |
| 3 | 繰入金 | 93,346,000 | 92,021,082 | 92,021,082 | 0 | 0 | 98.6 | 100.0 |
| 4 | 繰越金 | 26,438,000 | 26,437,720 | 26,437,720 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| 5 | 諸収入 | 545,000 | 514,490 | 514,490 | 0 | 0 | 94.4 | 100.0 |
| | 4年度合計 | 576,170,000 | 597,533,582 | 594,690,502 | 180,390 | 2,662,690 | 103.2 | 99.5 |
| | 3年度合計 | 533,881,000 | 541,935,134 | 539,756,674 | 437,960 | 1,740,500 | 101.1 | 99.6 |
| | 増減額 | 42,289,000 | 55,598,448 | 54,933,828 | △257,570 | 922,190 | 2.1 | △0.1 |

歳入款別決算対前年度比較

(単位：円・%)

| 年度 款 | 4年度 | 3年度 | 増減額 | 増減率 |
|--------------|-------------|-------------|------------|------|
| 1 後期高齢者医療保険料 | 475,716,910 | 427,759,590 | 47,957,320 | 11.2 |
| 2 使用料及び手数料 | 300 | 0 | 300 | 皆増 |
| 3 繰入金 | 92,021,082 | 88,658,534 | 3,362,548 | 3.8 |
| 4 繰越金 | 26,437,720 | 22,772,580 | 3,665,140 | 16.1 |
| 5 諸収入 | 514,490 | 565,970 | △ 51,480 | △9.1 |
| 合計 | 594,690,502 | 539,756,674 | 54,933,828 | 10.2 |

後期高齢者医療保険料の収入状況は、次表のとおりである。

後期高齢者医療保険料普通徴収分・特別徴収分収入状況

(単位：円・%)

| 区分 種別 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 対予算 | 対調定 | |
|----------|-------------|-------------|-------------|---------|-----------|-------|-------|-------|
| | | | | | | | 本年度 | 前年度 |
| 現年度分 | 455,004,000 | 476,819,490 | 474,988,130 | 0 | 1,831,360 | 104.4 | 99.6 | 99.8 |
| 特別徴収 | 282,103,000 | 266,956,370 | 266,956,370 | 0 | 0 | 94.6 | 100.0 | 100.0 |
| 普通徴収 | 172,901,000 | 209,863,120 | 208,031,760 | 0 | 1,831,360 | 120.3 | 99.1 | 99.4 |
| 過年度分 | 836,000 | 1,740,500 | 728,780 | 180,390 | 831,330 | 87.2 | 41.9 | 44.0 |
| 普通徴収 | 836,000 | 1,740,500 | 728,780 | 180,390 | 831,330 | 87.2 | 41.9 | 44.0 |
| 合計 | 455,840,000 | 478,559,990 | 475,716,910 | 180,390 | 2,662,690 | 104.4 | 99.4 | 99.5 |

後期高齢者医療保険料の収入済額は475,717千円で、歳入総額の80.0%を占めている。

収入率（対調定）は99.4%で、前年度より0.1ポイント下回っている。

不納欠損額は180千円で、前年度に比べ258千円(58.8%)減少した。

収入未済額は2,663千円で、前年度に比べ922千円(53.0%)増加した。

ウ 歳出

支出済額は566,330千円で、前年度に比べ53,011千円(10.3%)増加した。

これは、総務費が84千円(1.1%)減少したものの、後期高齢者医療広域連合納付金が53,047千円(10.5%)、諸支出金が48千円(9.6%)それぞれ増加したことによるものである。

不用額は9,840千円で、その主な要因は、後期高齢者医療広域連合納付金8,470千円の執行残によるものである。

本年度の歳出款別決算状況は、次表のとおりである。

歳出款別決算状況

(単位：円・%)

| 款 | 区分 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|---|----------------|-------------|-------------|--------|-----------|------|
| 1 | 総務費 | 8,137,801 | 7,617,206 | 0 | 520,595 | 93.6 |
| 2 | 後期高齢者医療広域連合納付金 | 566,634,000 | 558,163,886 | 0 | 8,470,114 | 98.5 |
| 3 | 諸支出金 | 582,190 | 549,390 | 0 | 32,800 | 94.4 |
| 4 | 予備費 | 816,009 | 0 | 0 | 816,009 | 0.0 |
| | 合計 | 576,170,000 | 566,330,482 | 0 | 9,839,518 | 98.3 |

歳出款別決算対前年度比較

(単位：円・%)

| 款 | 年度 | 4年度 | 3年度 | 増減額 | 増減率 |
|---|----------------|-------------|-------------|------------|------|
| 1 | 総務費 | 7,617,206 | 7,701,394 | △ 84,188 | △1.1 |
| 2 | 後期高齢者医療広域連合納付金 | 558,163,886 | 505,116,870 | 53,047,016 | 10.5 |
| 3 | 諸支出金 | 549,390 | 500,690 | 48,700 | 9.7 |
| 4 | 予備費 | 0 | 0 | 0 | - |
| | 合計 | 566,330,482 | 513,318,954 | 53,011,528 | 10.3 |

(4) 介護保険特別会計

ア 決算収支

決算額は、歳入総額3,322,752千円、歳出総額3,227,380千円で、前年度に比べ、歳入は130,070千円(4.1%)、歳出は48,775千円(1.5%)それぞれ増加した。

形式収支は95,372千円で、前年度に比べ81,295千円(577.5%)増加した。

介護保険事業計画等策定業務委託事業費6千円を継続費通次繰越したため実質収支は形式収支より6千円少なく、単年度収支は81,289千円の黒字である。

決算収支の状況は、次表のとおりである。

介護保険特別会計決算収支状況

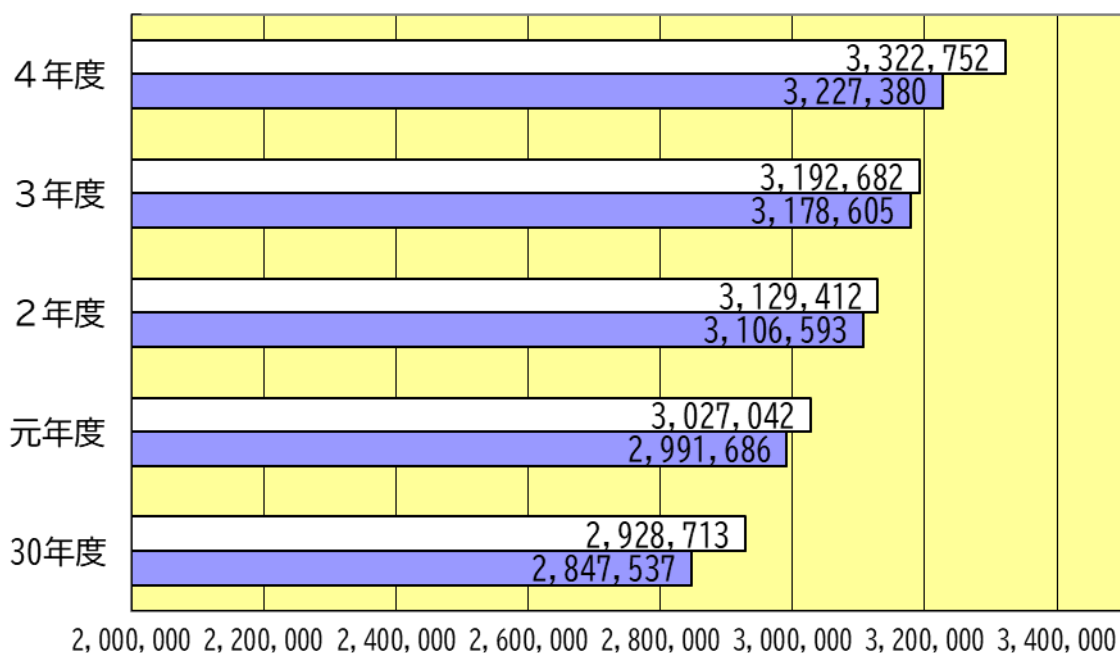
(単位：円・%)

| 区分 | 年度 | 4年度 | 3年度 | 増減額 | 増減率 |
|----|---------------|---------------|---------------|-------------|---------|
| A | 歳入総額 | 3,322,752,401 | 3,192,682,333 | 130,070,068 | 4.1 |
| B | 歳出総額 | 3,227,379,803 | 3,178,605,329 | 48,774,474 | 1.5 |
| C | 歳入歳出差引額(A-B) | 95,372,598 | 14,077,004 | 81,295,594 | 577.5 |
| D | 翌年度へ繰越すべき財源 | 6,000 | 0 | 6,000 | 皆増 |
| E | 実質収支額 | 95,366,598 | 14,077,004 | 81,289,594 | 577.5 |
| F | 単年度収支(E-前年度E) | 81,289,594 | △ 8,741,738 | 90,031,332 | 1,029.9 |

介護保険特別会計決算収支の推移

□歳入総額 ■歳出総額

(単位：千円)



イ 歳入

調定額3,342,957千円に対し、収入済額は3,322,752千円で、前年度に比べ130,070千円(4.1%)増加している。調定額に対する収入率は99.4%となっている。

繰越金が8,742千円(38.3%)減少したものの、支払基金交付金が71,580千円(9.2%)、国庫支出金が31,370千円(5.4%)、県支出金が15,863千円(3.5%)、繰入金が13,169千円(2.4%)、保険料が5,294千円(0.7%)、諸収入が1,536千円(518.9%)それぞれ増加したことによるものである。

本年度の歳入款別決算状況は、次表のとおりである。

歳入款別決算状況

(単位：円・%)

| 区分 款 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----------|---------------|---------------|---------------|-----------|------------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 1 保険料 | 819,610,000 | 825,056,156 | 804,851,205 | 6,626,353 | 13,578,598 | 98.2 | 97.6 |
| 2 国庫支出金 | 601,741,000 | 615,634,804 | 615,634,804 | 0 | 0 | 102.3 | 100.0 |
| 3 支払基金交付金 | 887,901,000 | 853,852,656 | 853,852,656 | 0 | 0 | 96.2 | 100.0 |
| 4 県支出金 | 479,950,000 | 466,529,505 | 466,529,505 | 0 | 0 | 97.2 | 100.0 |
| 5 財産収入 | 6,000 | 6,861 | 6,861 | 0 | 0 | 114.4 | 100.0 |
| 6 繰入金 | 590,739,000 | 565,968,602 | 565,968,602 | 0 | 0 | 95.8 | 100.0 |
| 7 繰越金 | 14,077,000 | 14,077,004 | 14,077,004 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| 8 諸収入 | 218,000 | 1,831,764 | 1,831,764 | 0 | 0 | 840.3 | 100.0 |
| 4年度合計 | 3,394,242,000 | 3,342,957,352 | 3,322,752,401 | 6,626,353 | 13,578,598 | 97.9 | 99.4 |
| 3年度合計 | 3,195,928,000 | 3,212,427,969 | 3,192,682,333 | 5,192,900 | 14,552,736 | 99.9 | 99.4 |
| 増減額 | 198,314,000 | 130,529,383 | 130,070,068 | 1,433,453 | △974,138 | △2.0 | 0.0 |

歳入款別決算対前年度比較

(単位：円・%)

| 区分 款 | 4年度 | 3年度 | 増減額 | 増減率 |
|-----------|---------------|---------------|-------------|-------|
| 1 保険料 | 804,851,205 | 799,556,790 | 5,294,415 | 0.7 |
| 2 国庫支出金 | 615,634,804 | 584,265,355 | 31,369,449 | 5.4 |
| 3 支払基金交付金 | 853,852,656 | 782,273,474 | 71,579,182 | 9.2 |
| 4 県支出金 | 466,529,505 | 450,666,167 | 15,863,338 | 3.5 |
| 5 財産収入 | 6,861 | 7,312 | △451 | △6.2 |
| 6 繰入金 | 565,968,602 | 552,798,816 | 13,169,786 | 2.4 |
| 7 繰越金 | 14,077,004 | 22,818,742 | △8,741,738 | △38.3 |
| 8 諸収入 | 1,831,764 | 295,677 | 1,536,087 | 519.5 |
| 合計 | 3,322,752,401 | 3,192,682,333 | 130,070,068 | 4.1 |

介護保険料の収入状況は、次表のとおりである。

介護保険料普通徴収分・特別徴収分収入状況

(単位：円・%)

| 区分 種別 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 対予算 | 対調定 | |
|----------|-------------|-------------|-------------|-----------|------------|-------|-------|-------|
| | | | | | | | 本年度 | 前年度 |
| 現年度分 | 816,610,000 | 810,503,420 | 802,246,260 | 0 | 8,257,160 | 98.2 | 99.0 | 98.9 |
| 特別徴収 | 756,159,000 | 729,556,370 | 729,556,370 | 0 | 0 | 96.5 | 100.0 | 100.0 |
| 普通徴収 | 60,451,000 | 80,947,050 | 72,689,890 | 0 | 8,257,160 | 120.2 | 89.8 | 89.8 |
| 過年度分 | 3,000,000 | 14,552,736 | 2,604,945 | 6,626,353 | 5,321,438 | 86.8 | 17.9 | 18.5 |
| 普通徴収 | 3,000,000 | 14,552,736 | 2,604,945 | 6,626,353 | 5,321,438 | 86.8 | 17.9 | 18.5 |
| 合計 | 819,610,000 | 825,056,156 | 804,851,205 | 6,626,353 | 13,578,598 | 98.2 | 97.6 | 97.6 |

介護保険料の収入済額は804,851千円で、前年度に比べ5,294千円(0.7%)増加した。

歳入総額の24.2%を占めている。

収入率(対調定)は、現年度分は99.0%で、前年度より0.1ポイント上昇、過年度分は17.9%で、前年度に比べ0.6ポイント下回った。

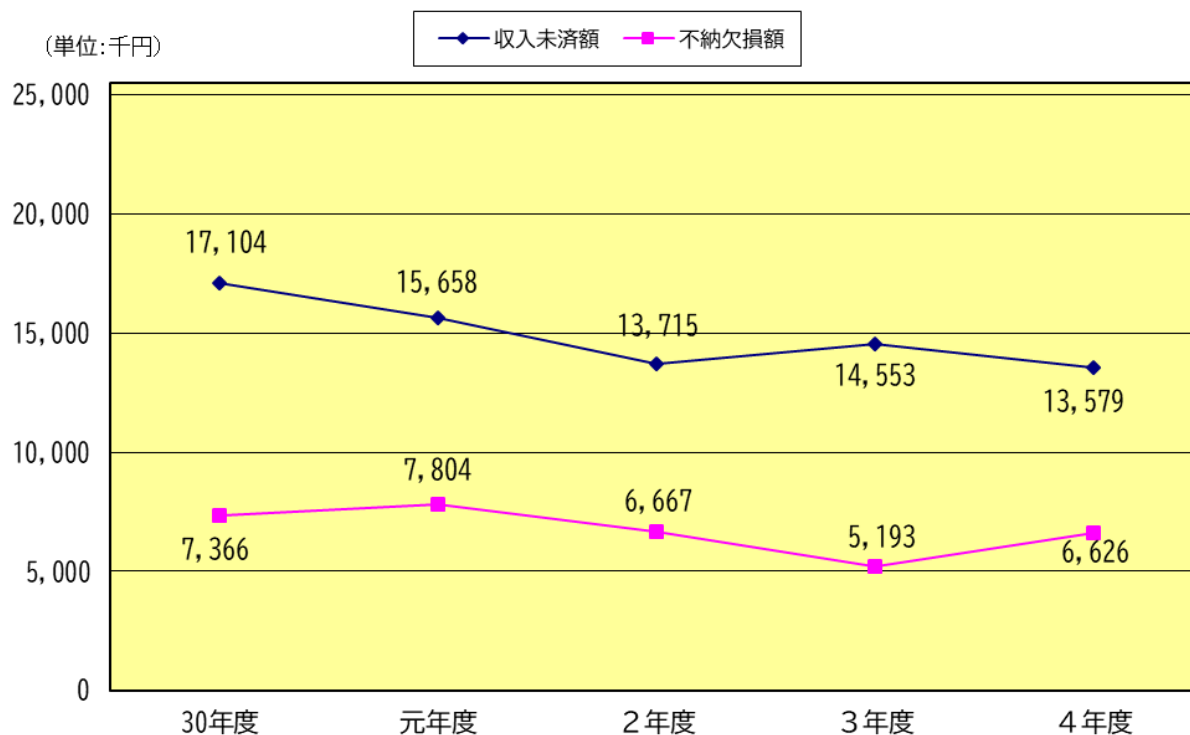
全体の収納率は97.6%で、前年度と同率である。

不納欠損額は6,626千円で、前年度に比べ1,433千円(27.6%)増加した。

収入未済額は13,579千円で、前年度に比べ974千円(6.7%)減少した。

介護保険料収入未済額等の推移

(単位:千円)



ウ 歳出

支出済額は3,227,380千円で、前年度に比べ48,775千円(1.5%)増加した。

この要因は、地域支援事業費が1,299千円(1.5%)、基金積立金が24,277千円(49.3%)それぞれ減少したものの、総務費が6,469千円(10.3%)、諸支出金が18,227千円(228.6%)、保険給付費が49,655千円(1.7%)それぞれ増加したことによるものである。

不用額は166,856千円で、その主なものは、保険給付費149,028千円、総務費1,458千円、地域支援事業費14,983千円などで、いずれも執行残によるものである。

本年度の歳出款別決算状況は、次表のとおりである。

歳出款別決算状況

(単位：円・%)

| 款 | 区分 | 予算現額 | 支出済額 | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|---------|---------------|---------------|--------|-------------|-------|
| 1 | 総務費 | 70,865,906 | 69,401,802 | 6,000 | 1,458,104 | 97.9 |
| 2 | 保険給付費 | 3,170,469,000 | 3,021,441,128 | 0 | 149,027,872 | 95.3 |
| 3 | 地域支援事業費 | 100,397,000 | 85,414,306 | 0 | 14,982,694 | 85.1 |
| 4 | 基金積立金 | 24,923,861 | 24,923,861 | 0 | 0 | 100.0 |
| 5 | 公債費 | 1,000 | 0 | 0 | 1,000 | 0.0 |
| 6 | 諸支出金 | 26,930,610 | 26,198,706 | 0 | 731,904 | 97.3 |
| 7 | 予備費 | 654,623 | 0 | 0 | 654,623 | 0.0 |
| 合計 | | 3,394,242,000 | 3,227,379,803 | 6,000 | 166,856,197 | 95.1 |

歳出款別決算対前年度比較

(単位：円・%)

| 款 | 年度 | 4年度 | 3年度 | 増減額 | 増減率 |
|----|---------|---------------|---------------|--------------|-------|
| 1 | 総務費 | 69,401,802 | 62,933,060 | 6,468,742 | 10.3 |
| 2 | 保険給付費 | 3,021,441,128 | 2,971,785,523 | 49,655,605 | 1.7 |
| 3 | 地域支援事業費 | 85,414,306 | 86,713,019 | △ 1,298,713 | △1.5 |
| 4 | 基金積立金 | 24,923,861 | 49,201,312 | △ 24,277,451 | △49.3 |
| 5 | 公債費 | 0 | 0 | 0 | - |
| 6 | 諸支出金 | 26,198,706 | 7,972,415 | 18,226,291 | 228.6 |
| 7 | 予備費 | 0 | 0 | 0 | - |
| 合計 | | 3,227,379,803 | 3,178,605,329 | 48,774,474 | 1.5 |

4 実質収支に関する調書

実質収支に関する調書は適法に作成されており、計数は正確なものとして認められた。

各会計の実質収支額は、次表のとおりである。

(単位:千円)

| 区分 \ 会計 | 一般会計 | 国民健康保険 | 後期高齢者医療 | 介護保険 | 合計 |
|----------------------------------|------------|-----------|---------|-----------|------------|
| (A) 歳入総額 | 15,060,423 | 4,685,517 | 594,691 | 3,322,752 | 23,663,383 |
| (B) 歳出総額 | 14,303,921 | 4,649,181 | 566,330 | 3,227,380 | 22,746,812 |
| (C) 歳入歳出差引額 (形式収支額) (A) - (B) | 756,502 | 36,336 | 28,361 | 95,372 | 916,571 |
| (D) 継続費逡次繰越額 | 462 | 0 | 0 | 6 | 468 |
| (D) 繰越明許費繰越額 | 64,700 | 0 | 0 | 0 | 64,700 |
| (D) 事故繰越額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (E) 実質収支額 | 691,340 | 36,336 | 28,361 | 95,366 | 851,403 |

5 財産に関する調書

公有財産、物品、基金に関する本年度の決算における増減高及び年度末現在高は、次表のとおりである。

(1) 公有財産

ア 一般会計

| 区 分 | | | 単位 | 3年度末現在高 | 4年度中増減高 | 4年度末現在高 | |
|---------|--------|----------|------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 公有財産 | 土地及び建物 | 土地 | 行政財産 | ㎡ | 638,263 | △ 512 | 637,751 |
| | | | 普通財産 (山林面積含む) | ㎡ | 5,283,073 | △ 53,454 | 5,229,619 |
| | | | 計 | ㎡ | 5,921,336 | △ 53,966 | 5,867,370 |
| | 建物 | 行政財産 | ㎡ | 127,030 | △ 582 | 126,448 | |
| | | 普通財産 | ㎡ | 2,245 | 0 | 2,245 | |
| | | 計 | ㎡ | 129,275 | △ 582 | 128,693 | |
| | 山林 | 地積 | ㎡ | 5,226,951 | △ 53,998 | 5,172,953 | |
| | | 立木の推定蓄積量 | ㎡ | 39,433 | 368 | 39,801 | |
| | 物権 | 地上権 | ㎡ | 38,992 | △ 808 | 38,184 | |
| | 有価証券 | | 千円 | 3,260 | 0 | 3,260 | |
| 出資による権利 | | 千円 | 191,044 | 0 | 191,044 | | |

※ 土地： 土地の決算年度末現在高は5,867,370㎡で、前年度末現在高より53,966㎡減少した。

※ 建物： 建物の決算年度末現在高は128,693㎡で、前年度末現在高より582㎡減少した。

※ 山林： 地積の決算年度末現在高は5,172,953㎡で、前年度末現在高より53,998㎡減少した。

立木の推定蓄積量の決算年度末現在高は39,801㎡で、前年度末現在高より368㎡増加した。

※ 物権： 地上権の決算年度末現在高は38,184㎡で、前年度末現在高より808㎡減少した。

※ 有価証券： 決算年度末現在高は3,260千円で、前年度末現在高と同額である。

※ 出資による権利： 決算年度末現在高は191,044千円で、前年度末現在高と同額である。

(2) 物品

ア 一般会計

| 区 分 | 単位 | 3年度末現在高 | 4年度中増減高 | 4年度末現在高 |
|-----|----|---------|---------|---------|
| 物品 | 件 | 394 | △ 10 | 384 |

※ 物品（1件50万円以上）の決算年度末現在高は384件で、前年度末現在高より10件減少した。

イ 特別会計

(ア) 国民健康保険特別会計

| 区 分 | 単位 | 3年度末現在高 | 4年度中増減高 | 4年度末現在高 |
|------------|----|---------|---------|---------|
| 物品（軽乗用自動車） | 件 | 1 | △ 1 | 0 |

※ 物品（1件50万円以上）の決算年度末現在高は0件で、前年度末現在高より1件減少した。

(イ) 介護保険特別会計

| 区 分 | 単位 | 3年度末現在高 | 4年度中増減高 | 4年度末現在高 |
|--------------|----|---------|---------|---------|
| 物品（軽四輪貨物自動車） | 件 | 1 | △ 1 | 0 |
| 物品（軽乗用自動車） | 件 | 1 | △ 1 | 0 |

※ 物品（1件50万円以上）の決算年度末現在高は0件で、前年度末現在高より2件減少した。

(3) 基金

ア 一般会計

決算年度末現在高の基金総額は、2,966,715千円となっており、前年度末と比較して258,183千円(9.5%)増加した。

(単位:円)

| 区 分 | 3年度末現在高 | 4年度中積立額 | 4年度中取崩額 | 4年度末現在高 |
|-------------|---------------|-------------|------------|---------------|
| 財政調整基金 | 1,281,360,198 | 180,848,898 | 28,721,125 | 1,433,487,971 |
| ハートピア基金 | 104,144,230 | 26,777,494 | 13,884,263 | 117,037,461 |
| いのちを守る基金 | 59,152,126 | 54,884,156 | 15,219,891 | 98,816,391 |
| 公共施設整備基金 | 1,163,019,654 | 50,021,685 | 0 | 1,213,041,339 |
| 文化・スポーツ振興基金 | 100,855,994 | 7,765,943 | 4,290,324 | 104,331,613 |
| 合 計 | 2,708,532,202 | 320,298,176 | 62,115,603 | 2,966,714,775 |

イ 特別会計

(ア) 国民健康保険特別会計

決算年度末現在高の基金総額は、2,897千円となっており、前年度末と比較して16,000千円(84.7%)減少した。

(単位:円)

| 区 分 | 3年度末現在高 | 4年度中積立額 | 4年度中取崩額 | 4年度末現在高 |
|--------------|------------|---------|------------|-----------|
| 国民健康保険財政調整基金 | 18,896,596 | 247 | 16,000,000 | 2,896,843 |

(イ) 介護保険特別会計

決算年度末現在高の基金総額は、336,141千円となっており、前年度末と比較して45,076千円(11.8%)減少した。

(単位:円)

| 区 分 | 3年度末現在高 | 4年度中積立額 | 4年度中取崩額 | 4年度末現在高 |
|------------|-------------|------------|------------|-------------|
| 介護保険事業運営基金 | 381,217,592 | 24,923,861 | 70,000,000 | 336,141,453 |

第6 審査意見

1 全会計（一般会計及び特別会計、企業会計）の決算状況について

令和4年度の全会計を合わせた決算額総計は、歳入が25,994,017千円、歳出が25,561,623千円で、前年度に比べ、歳入は573,072千円、2.2%、歳出は650,024千円、2.5%それぞれ減少しています。

2 一般会計及び特別会計の決算状況について

一般会計と特別会計を合わせた実質収支額は、851,403千円の黒字、実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は37,240千円の黒字となっています。

続いて、令和4年度末の町債の状況であります。特別会計はなく一般会計の町債現在高は6,339,558千円で、前年度に比べ349,166千円(5.2%)減少し、町債借入額は381,800千円で、前年度と比較いたしますと、255,300千円(40.1%)減少した一方、元金償還額は730,966千円で、前年度と比較いたしますと、22,336千円(3.2%)増加し、利子償還額は24,378千円で、前年度と比較いたしますと、3,971千円(14.0%)減少しています。今後も健全な財政運営に努められ、限りある自主財源を効率的に活用することができるよう、適債事業を厳選するなど、計画的な活用をお願いいたします。

3 一般会計の決算状況について

一般会計の決算額は、歳入総額15,060,423千円、歳出総額14,303,921千円となっており、この歳入から歳出を差引いた額から翌年度へ繰り越すべき財源65,162千円（繰越明許費繰越し分64,700千円、継続費繰越し分462千円）を差し引いた実質収支額は691,340千円の黒字、単年度収支額は、62,348千円の赤字となっていました。

次に、歳入決算額を款別に前年度と比較してみますと、町税、繰越金、財産収入、寄附金、地方消費税交付金などが増加した一方、国庫支出金、町債、繰入金、地方特例交付金、県支出金などが減少したことにより、総額では前年度に比べ、477,793千円、3.1%の減少となりました。

歳入減少の大きな要因は、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金のほか、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費補助金や臨時財政対策債が減ったためです。

次に、不納欠損額は、全体で23,521千円となっており、前年度と比較いたしますと、3,719千円、13.7%減少していました。

不納欠損は、負担の公平性、歳入確保の面でも影響が大きいことから、慎重かつ厳正な取扱いとともに引き続き、債権の保全及び確保に努められ、不納欠損に至った場合にあっては最小限のものとなるよう的確かつ効果的な徴収の努力をお願いいたします。

収入未済額は、全体で207,548千円となっており、前年度と比較いたしますと、26,525千円、11.3%減少していました。また、収納率は、対調定ベースで前年度と比較いたしますと、0.2ポイント上昇し98.5%となるなど、着実な成果を挙げているものと考えているところです。

今後も適法かつ適切な債権管理とともに、滞納者の実態、実状に即した、的確な納入指導を

実施され、収入未済額の縮減に向けた取り組みをお願いいたします。

続いて、歳出決算額を款別に前年度と比較してみますと、議会費、総務費、衛生費、農林水産業費、商工費、消防費、教育費、災害復旧費、公債費が増加したものの、民生費、土木費、諸支出金の減少により、前年度に比べ470,373千円(3.2%)減少していました。

歳出の内容を見ると、当初予算に掲げられた10の主要施策の事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、やむを得ず中止にした事業を除き、概ね執行されていました。

「新型コロナウイルス感染症対策事業」では、「新型コロナサポート窓口」を設置し、自宅療養やワクチン接種に関する相談を一元的に受け付け、支援したほか、ひとり暮らし高齢者世帯登録者へ激励品を配布するなどの新規事業が執行され、住民の福祉の増進が図られました。

「子育て支援を柱とした福祉・健康施策の推進」では、三歳髪置き祝金支給事業をはじめ、子育て支援センター内に「子ども家庭総合支援拠点」を整備し、さらには高齢者買い物支援事業などの新規事業やパートナーシップ宣誓制度を創設するなど、児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉、地域福祉、健康対策の各種事業が執行されていました。

「人づくりのための教育施策の推進」では、小学校給食費特例補助金の給付をはじめ、自宅学習用モバイルWi-Fiルーターの貸出しや電子図書館導入事業などの新規事業のほか、高等学校等への就学に対するバス通学助成金の拡大など、学校教育、生涯学習、スポーツ・文化振興の各種事業が執行されていました。

「活力のあるまちづくりの推進」では、住民団体との協働による山岳・ハイキング環境利用促進事業などの新規事業をはじめ、地域振興券「コロナに負けるな!元気券」の配布のほか、有害鳥獣対策事業や商店会活性化支援事業など、農林水産業、商工業・観光の振興に寄与するための各種事業が執行されていました。

「安全・安心まちづくりの推進」では、危機管理体制の強化を図るため、町危機管理室に防災に関する専門知識を有する防災監を配置したほか、高規格救急車の購入や半原出張所跡地に「道路河川防災ステーション」を整備するなど、防犯・交通安全対策、防災対策、消防・救急活動の各種事業が執行されていました。

「環境に配慮したまちづくりの推進」では、空き家に関する困りごとに対応する「総合相談窓口」の設置をはじめ、危険空き家解体費用補助金の創設のほか、環境美化協力募金箱を新設し、河川敷利用者に対して協力金やごみの持ち帰りを継続的に呼びかけるなど、環境美化意識の醸成、観光資源の保全に努められました。

「生活利便向上のための施策の推進」では、田代運動公園複合遊具設置工事や中津地内水道みち「フラワーロード」整備事業などの新規事業をはじめ、道路・橋りょう等整備事業や愛川聖苑設備改修事業など、生活交通の確保、道路網の整備、下水道の整備、水道施設の整備、生活環境の整備の各種事業が執行されていました。

「住民参加のまちづくりの推進」では、ホームページをリニューアルし情報発信の充実・迅速化に努めたほか、行政提案型協働事業やまち美化アダプト事業、あいかわ町民活動応援事業などが執行されていました。

「まち・ひと・しごと創生に向けた取り組み」では、横須賀水道・半原水源地を観光・産業連携拠点とするため、造成工事に必要な工作物撤去等の準備工事を行うとともに、民間企業の市場動向等を把握するため、マーケットサウンディングに取り組んだほか、イラストコンテスト「アイカワミライエ」の実施、ふるさと納税等の推進が図られました。

「行財政運営の効率化をめざして」では、老朽化した空調・照明設備等を省エネルギー型に更新するESCO事業の導入に向け、アスベスト含有建材調査を実施、共用車両一元管理事業の新規事業のほか、第6次総合計画の策定を行いました。

以上、令和4年度における主要施策ごとの成果について記述したが、計画的な行財政運営に努められ、概ね町政運営の所期の目的は達成したものと認められました。

続いて、本町の財政状況についてであります。財政分析指標を確認したところ、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、92.8%で前年度と比較いたしますと、3.1ポイント上回っています。

実質収支比率は7.9%で、望ましいとされる数値(3~5%程度)を若干上回っているものの、前年度より0.5ポイント下回っています。

続いて、公債費比率は3.9%、財政力指数は単年度で0.958、3ヶ年平均で0.970となっております。

次に、歳出の性質別決算額についてであります。義務的経費は、7,169,679千円で、前年度に比べ5.0%、373,545千円減少し、構成比は1.0ポイント減少し、50.1%となっております。

投資的経費は、699,705千円で、前年度に比べ17.0%、143,454千円減少し、構成比は、0.8ポイント減少し、4.9%となっております。

積立金は、320,298千円で、前年度に比べ62.0%、521,900千円減少し、構成比は、3.5ポイント減少し、2.2%となっております。

その他の経費では、他会計繰出金が1,091,930千円で前年度に比べ4.2%、43,589千円増加し、構成比は、0.5ポイント上昇し、7.6%となっております。

不用額は693,683千円で、前年度に比べ5.4%、35,616千円増加し、予算現額に対する比率は、4.6%で、対前年度比で0.4ポイント上昇しています。

今後とも、事務事業評価や特定分野評価などの手法を用いた各種事務事業の積極的な見直しによる経費節減、財源の有効活用などに努められ、効率的かつ効果的な行財政運営に努められるようお願いいたします。

4 国民健康保険特別会計の決算状況について

歳入総額は、4,685,517千円、歳出総額は、4,649,181千円、実質収支額は36,336千円となっております。

不納欠損額は、一般被保険者国民健康保険税31,523千円と、退職被保険者等国民健康保険税69千円及び過年度不当利得に伴う返納金等1,030千円で、合計32,622千円となっており、前年度

に比べ4.3%、1,469千円減少しています。

収入未済額は一般被保険者国民健康保険税117,365千円と退職被保険者等国民健康保険税22,821千円及び過年度不当利得に伴う返納金等4,967千円で、合計145,153千円となっており、前年度に比べ3.5%、5,241千円、減少しています。

国民健康保険税の収納率は84.1%で、前年度と同率でした。

また、一般会計からの繰入金は503,940千円で、前年度に比べ5.7%、27,056千円、増加しています。

本制度は、相互扶助にのっとった制度です。引き続き国民健康保険財政の健全化と負担の公平性確保の観点から、収納率の更なる向上を目指し、健全な事業運営を望みます。

5 後期高齢者医療特別会計の決算状況について

歳入総額は594,691千円、歳出総額は566,330千円、実質収支額は、28,361千円となっています。

不納欠損額は、普通徴収保険料過年度分180千円で、前年度に比べ58.8%、258千円、減少しています。

収入未済額は、普通徴収保険料現年度分1,832千円、普通徴収保険料過年度分831千円の合計2,663千円となっており、前年度に比べ53.0%、922千円、増加しています。

後期高齢者医療保険料の収納率は、99.4%で前年度を0.1ポイント下回りました。

また、一般会計からの繰入金は92,021千円で前年度に比べ3.8%、3,363千円、増加しました。

本制度は75歳以上の後期高齢者の心身の特性に合わせた医療サービスを介護サービスと連携し提供するもので、相互扶助にのっとった制度です。団塊の世代が75歳となり、後期高齢者医療制度加入者の増加に伴い、給付費も増加していることから、引き続き加入申請受付の窓口業務などでは、本制度の趣旨を十分理解していただけるよう、わかりやすい制度の周知に努められるようお願いいたします。

6 介護保険特別会計の決算状況について

歳入総額は3,322,752千円、歳出総額は3,227,380千円となっており、この歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源6千円を差し引いた実質収支額は、95,366千円となっています。

不納欠損額は、滞納繰越分第1号被保険者普通徴収保険料6,626千円で、前年度に比べ27.6%、1,433千円、増加しています。

収入未済額は、現年度普通徴収保険料8,257千円と滞納繰越分普通徴収保険料5,322千円の合計、13,579千円となっており、前年度に比べ6.7%、974千円減少し、介護保険料の収納率は97.6%で前年度と同率でした。

本町においても高齢化は着実に進んでおり、介護を必要とする高齢者も年々、増加傾向を示しておりますことから、引き続き、事業の財源となる保険料の収納率向上に努められ、町民に介護が必要な状況が訪れても安心して住み慣れた地域で生活することができるよう、本制度の趣旨に従い、更なる健全な事業運営を望みます。

令和4年度愛川町財政健全化審査意見書

第1 審査の対象

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類

第2 審査の期間

令和5年7月26日から令和5年8月8日まで

第3 審査の方法

この財政健全化審査は、町長から提出された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

第4 審査の結果

審査に付された下記の健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。

記

(単位：%)

| | 実質赤字比率 | 連結実質赤字比率 | 実質公債費比率 | 将来負担比率 |
|---------|--------|----------|---------|--------|
| 健全化判断比率 | — | — | 0.1 | — |
| 早期健全化基準 | 13.57 | 18.57 | 25.0 | 350.0 |
| 財政再生基準 | 20.00 | 30.00 | 35.0 | |

※ 早期健全化基準・4指標のうち1つでも早期健全化基準を超えた場合（自主再建する早期健全化団体）→健全化計画策定

※ 財政再生基準・将来負担比率を除く3健全化判断指標のいずれかで財政再生基準を超えた場合（国の監督を受ける財政再生団体）→再生計画策定